



広 報

みとよ



さぬきっ子に伝えたい

大見公民館うどん同好会

三豊市公式ホームページ <http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

2011
AUGUST

第 68 号

8

子どもたちのための

三豊市の学校のあり方

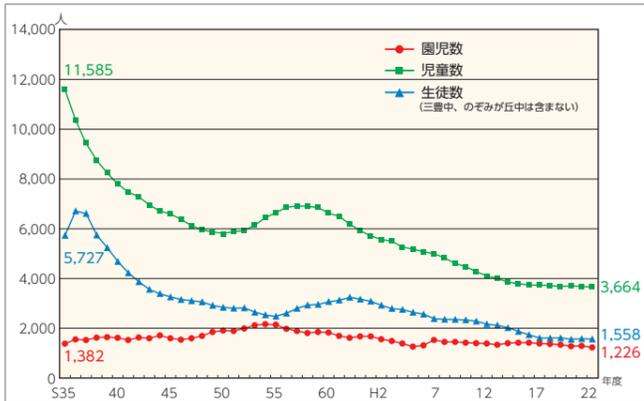
子どもたちの教育環境の整備は三豊市にとって最優先される課題です。

全国的に少子化が進む中、三豊市においても子どもの数が減少し、学校が小規模化しています。学校の小規模化は教育効果や学校の活力を維持する上でさまざまな課題が生じることにあります。

三豊市教育委員会では、三豊市立学校再編整備の基本方針を策定。今月から、市内各地区で説明会を順次開催します。皆さんのご意見をお聞かせください。



【表1】園児・児童・生徒数推移



※生徒数に、三豊中学校（三豊市・観音寺市学校組合立）、高瀬のぞみが丘中学校（県立）は含まれていません。
※園児数については、出生数が減少したものの、幼稚園の保育年数が1年から3年に段階的に延びたことや、保育所入所者の増加などの要因により、ほぼ横ばいとなっています。

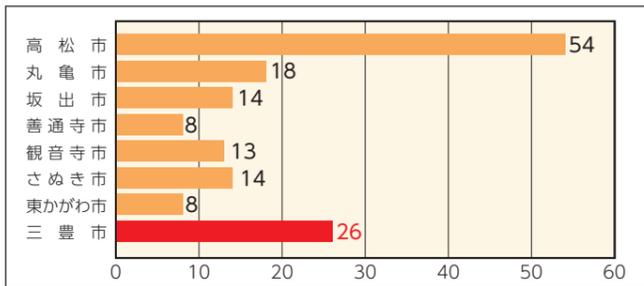
【表2】市立学校の園児・児童・生徒数、普通学級数一覧

(平成22年5月1日現在)

町	幼稚園			小学校			中学校		
	園名	園児数	学級数	校名	児童数	学級数	校名	生徒数	学級数
高瀬	上高瀬	78	4	上高瀬	214	7	高瀬	419	12
	勝間	58	3	勝間	204	7			
	比地二	70	4	比地	178	7			
	二ノ宮	50	3	二ノ宮	109	6			
山本	麻	53	3	麻	126	6	学校組合立三豊※2	431(195)	12
	辻	43	3	辻	101	6			
	河内	15	3	河内	50	6			
	大野	34	3	大野	127	6			
三野	神田	18	3	神田	62	6	三野津	252	8
	大見	72	3	大見	186	6			
豊中	下高瀬	58	3	下高瀬	209	6	豊中	291	9
	吉津	57	3	吉津	168	6			
	桑山			桑山	138	6			
	比地大			比地大	95	6			
詫間	笠田			笠田	143	6	詫間	326	10
	上高野			上高野	132	6			
	本山			本山	146	6			
	松崎	41	3	松崎	168	6			
粟島	詫間	95	6	詫間	499	17	粟島	休校	
	大浜	6	1	大浜	34	5			
	箱浦	3	1	箱浦	20	5			
仁尾	粟島			粟島			仁尾	168	6
	平石	111	6	仁尾	320	12			
財田	曾保	12	2	曾保	38	6	和光	102	4
	財田	88	5	財田上	108	6			
合計※1	21園	1,226	73	26校	3,664	168	7校	1,558	49

※1 合計数には休園・休校も含まれます。三豊中学校は含まれません。
※2 三豊中学校の生徒数欄の()内は三豊市在住の生徒数を表しています。

【表3】県内市別小学校数 (平成22年5月1日現在)



※分校数（高松市2、さぬき市1）を含みます

1 三豊市立学校の適正規模・適正配置（答申）

三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会で審議され、提出された答申の内容（抜粋）をお知らせします。

答申1

25年後には半数になる三豊市の児童・生徒

三豊市も、他の自治体と同様に、少子化の進行により、児童・生徒数の減少が深刻な状況となっています。今から50年前の昭和35年には、小学校の児童数は11,585人、中学校の生徒数は5,727人でしたが、平成22年5月には、児童数は約3分の1の3,664人、生徒数は約

4分の1の1,558人まで減少。【表1参照】

さらに、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）によれば、25年後の平成47年には児童・生徒数ともに現在の約2分の1にまで減少することが予測されています。

答申2

小学校25校のうち適正校はわずか2校

市内の学校数は、幼稚園

20園、小学校25校、中学校6校（栗島幼稚園・小学校・中学校が休園・休校）。山本町の三豊中学校は、三豊市・観音寺市学校組合立によって運営されています。各校（園）の園児・児童・生徒数および普通学級数は【表2・3】のとおりです。

小・中学校の規模は、学校教育法施行規則第41条・第79条で「12学級以上18学級以下を標準とする」と規定されています。三豊市の小・中学校を



この基準で分類してみると、小学校25校のうち、適正規模校は詫間小学校、仁尾小学校のわずか2校であり、小規模校が19校、過小規模校が4校となっています。**【表4参照】**

現在、過小規模の4校については、市費で講師を配置するなどして、できるだけ複式学級（※）の解消を図っている状況です。中学校についても、6校中、適正規模校は高瀬中学校1校のみとなっており、小規模校が4校、過小規模校が1校となっています。現在、過小規模校の和光中学校は全校で4学級となっており、近い将来1学年1学級、全校で3学級になることは明らかです。

答申4 地域社会の拠点としての学校もふまえたルール作り **【表7参照】**

学校適正規模・適正配置を検討するにあたっては、学校は子どもの学習の場であるという教育的観点を中心に考えていかなければなりません。しかし、学校は地域の文化の拠点となる施設であり、精神的支柱という側面も持つっており、地域を無視して論ずることはできません。

健康やかな体を育むとともに、集団の中で多様な考え方や個性をもつ児童生徒が互いに学びあい、認め合い、協力しあい、時には競い合い、社会性や協調性を培うことにより、社会の変化にしっかりと対応できる「生きる力」を身につけることが求められています。

しかしながら、市内の学校は今後も小規模化することが予想されるだけに「将来にわたって子どもが生きる力を培うことができる教育環境を保障する」ことは私たちが市民の責務であり、学校の適正規模・適正配置が喫緊の課題となっています。

【表7】 学校適正規模・適正配置の基本的考え方

基本	三豊市全体に共通する基準を作る
適正規模	<p>三豊市の目指す学校規模（国・県の基準）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校はクラス替えが可能な1学年2学級以上、6学年12学級以上とする ・中学校はクラス替えが可能な1学年2学級以上、かつ、主要5教科で複数の教員を配置しやすい3学年9学級以上とする <p>三豊市の付帯基準</p> <p>小学校規模の下限（1学年単学級、1学級20人、全校120人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、複式学級編制対象校（過小規模校）の解消を最優先とする ・幼稚園は就学前教育・保育検討委員会の答申に基づき、望ましい学級数は各年齢1～2学級、1幼稚園の園児数を80～120人とする
適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ・7町に最低1小学校、1中学校を基本とする ・通学区域は旧町単位を基本として考える ・地域の実情や通学距離により、調整区域（※1）を設けるなど弾力的な運用も検討する ・小学校の通学距離はおおむね4km以内が望ましい。統合により通学距離が2.5km以上になる児童については、スクールバス等の通学支援策を講じる ・中学校の通学距離はおおむね6km以内が望ましい。6kmを超える生徒については必要に応じて通学支援策を講じる
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの教育環境整備を最優先に検討するが、学校は地域のよりどころであるので、統合後は学校に代わる公民館等のコミュニティ活動の充実を図る ・地域住民の活動の場や地域の活性化・発展のために跡地・施設の有効な活用方法を市全体で総合的に検討する ・学校をむら単位からまち単位へ転換する
財政	<ul style="list-style-type: none"> ・効率化より教育環境の整備を優先する ・集約により財政の効率化を図り、浮いた財源を子どもたちの教育に還元する ・既存施設の利用だけでなく、新設校の設置についても検討する ・校舎等建設の場合は、耐用年数、幼稚園等の整備も検討し、財政的、事務的に可能な計画をたてる ・合併特例債（※2）の活用も視野に入れ、財政担当と十分に協議する ・経費の公平を図る（小規模校、大規模校での児童生徒1人当たりの経費の差が大きい）

※1 調整区域：通学距離などを考慮し、保護者の申請により指定校の変更ができる区域のこと
 ※2 合併特例債：市町村建設計画に基づく事業の財源として、合併後10年間に限り、借り入れることができる財政的に有利な地方債

【表4】 平成22年度の三豊市立小・中学校の規模（学校規模の順に掲載）

学校規模（学級数）	小学校	中学校
過小規模（1～5）	箱浦小・大浜小・曾保小・河内小	和光中
小規模（6～11）	神田小・財田中小・比地大小・辻小・財田上小・二ノ宮小・麻小・大野小・上高野小・桑山小・笠田小・本山小・吉津小・松崎小・大見小・下高瀬小・比地小・勝間小・上高瀬小	仁尾中・三野津中・豊中中・詫間中・三豊中
適正規模（12～18）	仁尾小・詫間小	高瀬中

※ 三豊中学校は三豊市・観音寺市学校組合立ですが、基準で分類すると上記の規模になります

【表5】 児童数の将来推計（平成22年5月1日現在の住民基本台帳に基づく）

町	小学校	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
高瀬	上高瀬	215	212	208	200	197	201	196
	勝間	207	202	183	174	172	161	161
	比地	178	188	186	169	179	170	174
	二ノ宮	107	112	120	118	117	110	99
	麻	125	120	125	123	123	129	128
	小計	832	834	822	784	788	771	758
山本	辻	101	102	105	103	112	113	104
	河内	46	45	44	50	48	45	42
	大野	127	119	106	103	104	99	99
	神田	59	54	56	51	45	45	48
	小計	333	320	311	307	309	302	293
三野	大見	190	194	195	185	174	173	158
	下高瀬	218	200	199	198	195	184	174
	吉津	161	153	155	155	144	152	138
	小計	569	547	549	538	513	509	470
豊中	桑山	137	141	158	147	141	130	131
	比地大	98	101	87	86	80	73	66
	笠田	141	136	126	124	118	123	121
	上高野	135	123	118	124	115	108	104
	本山	146	137	133	126	128	122	117
	小計	657	638	622	607	582	556	539
詫間	松崎	162	159	149	154	143	145	142
	詫間	504	481	477	456	425	410	384
	大浜	36	26	25	25	23	24	22
	箱浦	23	22	17	18	16	19	21
	小計	725	688	668	653	607	598	569
仁尾	仁尾	322	308	297	280	261	243	222
	曾保	41	38	35	32	29	24	20
	小計	363	346	332	312	290	267	242
財田	財田上	107	108	109	105	104	107	102
	財田中	93	87	94	92	87	86	89
	小計	200	195	203	197	191	193	191
合計		3,679	3,568	3,507	3,398	3,280	3,196	3,062

※ 住民基本台帳に基づいて集計しているため、【表2】の児童数とは一致しない。

【表6】 生徒数の将来推計（平成22年5月1日現在の住民基本台帳に基づく）

町	中学校	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
高瀬	高瀬	436	447	448	442	421	408	390	413	414	394	375	357	364
山本	三豊	196	195	173	182	173	173	151	147	138	156	162	164	137
三野	三野津	263	268	271	270	286	272	299	261	277	239	252	232	231
豊中	豊中	296	309	329	334	337	329	323	301	293	284	281	263	255
詫間	詫間	343	367	373	367	357	364	358	331	304	295	276	294	274
仁尾	仁尾	173	188	189	201	184	175	162	162	157	150	128	110	92
財田	和光	108	115	100	107	95	100	93	100	103	104	91	90	87
合計		1,815	1,889	1,883	1,903	1,853	1,821	1,776	1,715	1,686	1,622	1,565	1,510	1,440

※ 住民基本台帳に基づいて集計しているため、【表2】の生徒数とは一致しない。
 三豊中学校は観音寺市在住の生徒を含んでいない。

答申3 集団の中で生きる力を培うことができる教育環境を作ることが責務

市内の学校の大半を占める小規模校は、児童生徒一人ひとりに目が届き、教員や保護者も含めて互いの結びつきが深くなることにより、一体感を持った学校運営ができるなどの良い点があります。その反面、多様な考え方に触れる機会や学びの機会、良い意味での競争する機会が少ないため、たくましく育てることが難しいとも言えます。

本来、学校には知・徳・体の基礎・基本の徹底によるバランスのとれた教育により、確かな学力、豊かな心、

※複式学級：2学年の児童数の合計が16人以上の場合は複式学級（例：2年生と3年生の合計が16人以上）、但し、1年生を含む場合は8人以下（1年生と2年生の合計が8人以下）。

【表5・6参照】

見込みです。平成22年5月1日現在の児童・生徒数と0～5歳児数から推計した将来の児童・生徒数を見ても、今後、小規模校がますます進行することは明らかです。



きません。また、学校運営経費の多くは公金から賅われており、学校運営の効率化や市の財政状況という観点も忘れてはなりません。

そこで、市全体に共通したルール作りを根底に、適正規模、適正配置、地域社会財政の4つの観点から検討を行いました。

幼稚園については平成21年1月に三豊市就学前教育・保育検討委員会から答申が出され、適正規模や通園区などについての考え方が示されているので、小・中学校に重点を置き審議が行われました。

答申5

統合に要する期間は2～7年

統合には既存の学校施設をそのまま利用できる場合と増築が必要な場合、新設校を建設する場合が考えられます。それぞれに要する期間は先進事例等を参考に設定しました。

統合に要する期間の目安

- ① 既存施設利用統合 ……2年
- ② 増築統合 ……4年
- ③ 新設統合 ……7年

120人を下回るため新設校を建設して統合する。

○財田上小学校と財田中小学校の児童数が3年連続で120人を下回るため新設校を建設して統合する。

【第3期（H34～38年）】

○吉津小学校と大見小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため下高瀬小学校を含めた3校を統合する。

○比地大小学校と上高野小学校が1期に120人を下回る。次いで本山小学校、笠田小学校、桑山小学校も2期に120人を下回ると推測される。基準に沿って統合すると3段階の統合が必要になるため、新設校を建設して5校を一度に統合する。

○松崎小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため詫間小学校と統合する。

答申6 児童数が半数になる25年後、小学校は8校に

市内小学校の再編整備の具体的方策が示されました。計画は、来年度から5年単位で策定。おおむね10年ごとに見直し期間を設け、児童・生徒数の状況や社会情勢を考慮して計画の見直しを行っていきます。

将来的に、児童数が現在の約半数になる25年後には、小学校の数を25校から8校に統合する案が示されました。各学校の具体的方策は次の通りです。

【第1～2期（H24～33年）】

○箱浦小学校と大浜小学校の複式学級を解消するため詫間小学校と統合。

○曾保小学校の複式学級を解消するため仁尾小学校と統合。

○河内小学校と神田小学校が複式学級編制校となり、辻小学校と大野小学校の児童数が3年連続で

【第4期（H39～43年）】

○二ノ宮小学校が1期に120人を下回る。麻小学校も2期、勝間小学校も3期に120人を下回ることが推測される。基準に沿って統合すると2段階の統合が必要となるため、新設校を建設して3校を一度に統合する。

【第5期（H44～48年）】

○比地小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため新設校を建設して上高瀬小学校と統合する。



2 答申の内容について市民に問う パブリックコメントの実施

2月1日～21日、「三豊市立学校の適正規模・適正配置について」答申（案）のパブリックコメントを実施しました。寄せられた意見（抜粋）を紹介します。

・小学校の統廃合はやむを得ないと思うが、それにより遠距離通学児童には通学支援が必要になってくる。校区制を廃止して、より近くの学校へ通学ということも考えなければならぬと思う。（高瀬町・男性）

・小規模校であっても高い教育水準を維持しながら学校経営することは可能だと思う。人間関係面・教育指導面・学校運営面・登校負担面での比較をした場合、適正規模においても逆にデメリットは多々ある。（豊中町・男性）

・児童数の減少傾向のみで小学校を統廃合することは反対である。（豊中町・男性）

・児童数が少ない学校では、他の学年との交流でよい経験ができ、協力することが学べるなど、子ども達にとって良い学校生活がおくれる。（仁尾町・女性）

・教師一人当たりの生徒数が少なれば少ないほど、一人ひとりの生徒に目が行き届き、きめ細かい教育ができるはずだ。財政に重点を置けばできるだけ大規模な学校がいいということになる。（財田町・男性）

・学校問題の基本方針が決まれば全市民に説明があるだろうが、早期方針決定・早期説明をお願いする。（山本町・男性）

・児童・生徒数の減少をマイナスとしてとらえているが、少人数クラスの方がきめ細やかな指導が出来ることを考慮すれば、チャンスととらえるべきではないか。（三野町・男性）

・児童数および生徒数がここまで急激に減少しているとは知らなかった。学校の適正配置等、学校改革を今やらねば・・・と、強く思う。（詫間町・男性）

・地域に学校が無くなると次世代の若者たちが土地を離れてしまい、今以上に過疎化が進むのではないか。どこの地域も自分達を通った学校が無くなるのはとても悲しいと思う。（詫間町・男性）

・小学校は地域に根ざした歴史があり、どの地区でも小規模校ほど地域住民の貢献は大きいし、互いに助け合っている。もっと地域と会話をすべきである。（仁尾町・男性）

・子どもたちのために統合を考えていると思うが、本当に子どもたちのことを考えているのなら学校を残してほしい。（詫間町・男性）

・今のままが一番だが、複式学級になるのなら統合した方が、子どもにとっていいような気がする。（仁尾町・女性）

・三豊市の少子化傾向は想像を超えるものであり、現在の小学校を、現在のまま維持していくことは不可能であるとの見解は十分理解できるものである。（仁尾町・男性）

・クラス替えも無く、自分の希望する部活もできない状態は好ましいものではない。すべての子どもが均等に教育を受けられる機会、環境を与えられるよう希望する。（財田町・男性）

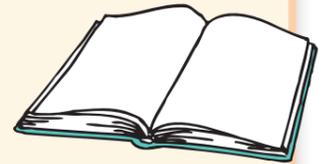
3 三豊市立学校再編整備の基本方針

5月18日、市教育委員会は『三豊市立学校の適正規模・適正配置について(答申)』の趣旨を尊重し適正規模、適正配置を考えるうえで教育的観点を中心に、地域社会、財政等も考慮し、基本方針を策定しました。

学校再編整備計画

(1) 初期10年間の学校再編整備計画

- ① 詫間小学校、箱浦小学校、大浜小学校
平成23年度より協議を始め、平成25年度までに詫間小学校への統合を目指す。
- ② 詫間幼稚園、箱浦幼稚園、大浜幼稚園
平成23年度より協議を始め、平成25年度までに詫間幼稚園への統合を目指す。
- ③ 仁尾小学校、曾保小学校
平成23年度より協議を始め、平成25年度までに仁尾小学校への統合を目指す。
- ④ 平石幼稚園、曾保幼稚園
平成23年度より協議を始め、平成25年度までに平石幼稚園への統合を目指す。
- ⑤ 辻小学校、河内小学校、大野小学校、神田小学校
平成23年度より協議を始め、新設小学校として早期開校を目指す。
- ⑥ 辻幼稚園、河内幼稚園、大野幼稚園、神田幼稚園
平成23年度より協議を始め、新設幼稚園として早期開園を目指す。
- ⑦ 財田上小学校、財田中小学校
平成23年度より協議を始め、新設小学校として早期開校を目指す。



(2) その他の学校再編整備計画

その他の幼稚園、小学校および中学校については、原則として答申を基本とする。

望ましい学校規模は1学年2学級以上

学校再編整備については、答申で示された適正規模・適正配置の基本的考え方に基つき進めていきます。

望ましい学校規模

- ・ 小学校はクラス替えが可能な1学年2学級以上、6学年12学級以上
- ・ 中学校はクラス替えが可能な1学年2学級以上、かつ、主要5教科で複数の教員を配置しやすい3学年9学級以上
- ・ 幼稚園の学級数は1学年1〜2学級で、1幼稚園の園児数は80〜120人が望ましい

三豊市の付帯基準

- ※ 小学校規模の下限は、1学年単学級、1学級20人、全校120人とする。
- ※ 7町に最低1小学校、1中学校を基本とする。

再編の進め方と手順

① 複式学級編制対象となる

小学校の解消を最優先とする。

複式編制対象学級があり、今後児童数の増加が見込めない小学校については、同じ町内の近隣の小学校と統合する。

② 全校120人未満の小学校を統合し、望ましい規模に近づける。
原則として3年間、児童数120人を下回る状態が続き、今後、増加が見込めない小学校については、同じ町内の近隣の小学校と統合する。

③ 校舎の規模や耐用年数も考慮し、今後の計画も見越した上で、必要に応じ新校舎の建設を検討する。

④ 中学校については、1町に1中学校を基本としているので、当面の間、統合は行わない。

⑤ 幼稚園については、小学校の再編整備にあわせて協議を行う。

見直し期間

おおむね10年ごとに見直し期間を設け、児童、生徒数の状況や社会情勢を考慮して計画の見直しを行う。児童、生徒数の激変、個々の計画の大幅な変更、法改正等の特別な事情が起きた場合には、随時見直しを図る。

地域社会と財政

統合が実施される地域においては、地域住民が将来にわたって活力のある良好なコミュニティ作りができるよう、市全体で総合的に検討する。

財政については、合併特例債等の活用も視野に入れ、財政的に可能な計画をたてる。

子どもたちの教育を第一に考えて

現在、市内には多くの小規模校がありますが、各校の努力や創意工夫により、高い教育水準を維持しながら学校経営がなされています。

しかし、近年の児童、生徒数の急激な減少は市内の学校の小規模化をますます加速させ、指導面や運営面の工夫等、努力だけで対応していくことが困難となってきたのも事実です。
子どもたちが同世代の多様な考えに触れ、互いに学びあう機会を作り、たくましく育つ教育環境の整備は最優先される課題です。
市教育委員会では、検討委員会から出された答申と、教育委員会が策定した基本方針の内容および今後の進め方について説明会を開催します。
説明会については、関係機関と日程調整のうえ、8月から初期10年間の計画に該当する校区より順次開催する予定です。
皆さんのご意見をお聞かせください。

▼問い合わせ

子ども未来推進室
☎ 62・1135

市議会だより

平成23年第2回 三豊市議会定例会

平成23年第2回三豊市議会定例会は、6月10日から29日までの20日間の日程で開かれました。
 今定例会では、平成23年度一般会計・特別会計補正予算2件および三豊市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正についてなど条例11件、動産の買入れについて2件、その他、専決処分議案3件を含め、合計18案件を承認・可決しました。
 人事案件では4議案、財産区管理委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。



市長・副市長・教育長の給料、議員報酬を7月から引き下げへ

初日には、市長・副市長および教育長の給料ならびに議員報酬の額の減額、動産の買入れなどについて、市長から議案の提案理由の説明がありました。
 一般質問は、14日・17日・20日の3日間行われ、19人の議員が市政全般にわたる質問を行いました。
 各議案の細部にわたる審査は、付託された各常任委員会

で、総務教育常任委員会21日、建設経済常任委員会23日、民生常任委員会22日に、所管の事項について行われました。
 29日の最終日には、所管の委員会に付託していた議案の審査結果について、各常任委員長から報告があり、採決の結果、18議案すべてを委員長報告どおり承認・可決しました。

人事案件については、次のとおり同意しました。
 (敬称略)

■三野町大見財産区管理委員
 宝城 明 岩田 秀樹
 藤田 公正 齋藤 満徳
 横田 美智子 長尾 眷三
 加賀宇 由基

■三野町下高瀬財産区管理委員
 嶋田 勲 真鍋 恵
 島田 清 関 隆夫
 関 博 綾 武幸
 正男

永年勤続表彰

■全国市議会議長会表彰
 一般表彰(15年以上在職)
 坂口 晃一
 一般表彰(10年以上在職)
 三宅 静雄
 香川 努
 近藤 久志

■四国市議会議長会表彰
 特別表彰(12年以上在職)
 宝城 明
 横山 強
 為広 員史
 龍本 文子
 一般表彰(8年以上在職)
 小林 照武
 鴨田 偕
 大平 俊和
 三木 秀樹
 城中 利文
 近藤 賢司

(町議会議員歴の1/2を勤続年数に換算)

人権擁護委員

篠原 昌宏(高瀬町佐股)
 詫間 定男(高瀬町比地中)
 木下 実(仁尾町仁尾)

平成23年第2回三豊市議会定例会 審議結果

議案第55号	専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認(全会一致)
議案第56号	専決処分の承認(平成23年度一般会計補正予算(第1号))	原案承認(全会一致)
議案第57号	専決処分の承認(税条例の一部を改正する条例)	原案承認(全会一致)
議案第58号	予防接種等健康被害調査委員会設置条例の制定	原案可決(全会一致)
議案第59号	議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決(賛成多数)
議案第60号	特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第61号	教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第62号	文書館協議会設置条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第63号	母子家庭等医療費支給に関する条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第64号	老人福祉センター条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第65号	児童館条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第66号	水道事業給水条例の一部改正	原案可決(全会一致)
議案第67号	母子健康センター条例の廃止	原案可決(全会一致)
議案第68号	学校適正規模・適正配置検討委員会設置条例の廃止	原案可決(全会一致)
議案第69号	動産の買入れ	原案可決(全会一致)
議案第70号	平成23年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第71号	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第72号	動産の買入れ	原案可決(全会一致)
議案第73号	財産区管理委員の選任(三野町大見財産区・三野町下高瀬財産区)	原案同意(全会一致)
議案第74号 議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意(全会一致)

※ 議決年月日
 議案第55号~76号(平成23年6月29日)

会派の異動

七宝会 川崎 秀男議員が加入
 (平成23年6月1日現在)

19日	14日	12日	11日	7日	5日	4日	7月	30日	29日	27日	24日	23日	22日	21日	20日	17日	16日	15日	14日	10日	7日	
民生常任委員会視察研修 議会広報委員会	建設経済常任委員会視察研修	建設経済常任委員会	建設経済常任委員会	三豊総合病院企業団議会 まちづくり調査特別 委員会視察研修				議会・行財政改革 調査特別委員会 ごみ処理問題 調査特別委員会		議会運営委員会 定例会	議会・行財政改革 調査特別委員会	建設経済常任委員会	民生常任委員会	総務教育常任委員会	定例会(一般質問)	議会運営委員会	市議会議員共済会 定例会(一般質問)	議会広報委員会 定例会(一般質問)	議会広報委員会 定例会(一般質問)	建設経済常任委員会 定例会	議会運営委員会	

3日	6月	31日	30日	27日	26日	25日	19日	16日	12日	10日	5月	28日	27日	26日	22日	21日	19日	4月
議会運営委員会 全員協議会		まちづくり 調査特別委員会	全国自治体病院経営 都市議会	総務教育常任委員会 ごみ処理問題 調査特別委員会	四国市議会議長会	民生常任委員会	県市議会議長会総会	全員協議会	建設経済常任委員会 定例会	議会・行財政改革 調査特別委員会		議会運営委員会	総務教育常任委員会 調査特別委員会	まちづくり 調査特別委員会	議会・行財政改革 調査特別委員会	建設経済常任委員会	総務教育常任委員会	議会 日誌

川崎 秀男 議員

行政組織体制について

問 目標管理・バイオマスタウン推進室の充実・農業振興課員の充実をすべきでないか。
答 来年度から目標管理制度を導入したい。

バイオマスタウン推進室は、市長特命組織で、推進室を中心に執行部全体として政策の実現に努めたい。農業振興課員の充実、市が農業振興センターを独自に設置し、地域の特性を出していきたい。

市の農業振興について

問 ①農家数・販売農家数・耕作放棄地面積の推移②新総合計画の主要事業の実績③生産技術対策④販売流通対策⑤三豊農業振興センターの設立を問う。
答 市の農業の現状は、農家数・販売農家数も減少しており、特に耕作放棄地が1,320haもある。三豊農業振興センターを立ち上げ、多様な農業者の経営安定・農地の保全活用・地域農産物の販売促進の3項目を主題として取り組む。

宝城 明 議員

公園施設などの管理・運営について

問 公園管理の実態を問う。
答 系統的に整理できていない状況である。
問 地域の憩いの場である農村公園について、管理を統一してはどうか。
答 公園の使用実態を把握し、地元管理形態を見直した上で早急に再検討を図りたい。

ボランティア組織が、整備・管理を行う公園などが多くある。三野町の前山公園・詫間町の博智山など。地域に活力を生み出す活動と思つが、市は援助を考えているのか。
答 ボランティア組織が、地域の保全活動に積極的に参加・協力することにより、地域への愛着や郷土愛の育成など、さまざまな効果が生まれると考える。今後まちづくりの主役である市民皆さまの保全活動に期待している。



為広 員史 議員

災害時の医療救護計画について

問 災害・大規模事故などから、地域住民の生命・健康を守る医療救護をどうするのか。
答 医療救護体制整備計画では、目的として初期医療体制・後方医療体制などの整備、医薬品・ライフラインの確保などを定めている。後方医療体制などの整備では、永康病院・三豊総合病院・松井病院・岩崎病院・橋本病院・香川井下病院を指定し、協力体制を要請している。医療救護計画では、現地医療体制・後方医療体制、負傷者の搬送、医薬品・救護資材・機材の確保をつたっている。要請を受けた場合には、三豊・観音寺医師会には、医療救護班を編成し、派遣するものと計画の中で記されている。医師会・医療機関には、災害時の医療確保など、負傷者等の医療救護活動をお願いしている。

○その他「小学校運動場芝生化」、「韓国陝川郡との友好都市交流」を質問。

西山 彰人 議員

市の防災について

問 土木業者や職員の出勤計画について、土木の仕事が減り廃業する業者があるが、災害時に出勤してもらえないのか？職員数が大幅に削減されているが大丈夫か？
答 市建設業協会と災害時協定を締結している。職員の出勤は見直しをしている。

問 管理できない小規模ため池や個人所有のため池の災害対策は？
答 管理放棄の防災上危険なため池は、小規模ため池緊急防災対策事業を実施している。市民への周知に努める。

市民の意見反映について

問 学校統廃合では、「小規模校でも子どもにとっていいことがたくさんある」など、給食センター統廃合では、「配送時間が長く、おいしくなくなる」などの意見がある。財政上問題があっても一度立ち止まり、意見を聞いてほしい。
答 1番目は子どもたち、2番目はコミュニティ、財政はぐっと離れて3番目にある。

前川 勉 議員

公共施設の木造化について

問 昨年公共建築物における木材利用の促進に関する法律が施行されたが、今後公共施設の建設に当たって、木造化にどう取り組んでいくのか。
答 今後整備する公共建築物は可能な限り木造化、内装などの木質化を図っていききたい。

問 県下の児童生徒による暴力行為や不登校件数は最悪の状況にある。5月11日市内中学校で生徒の暴力行為による逮捕事件が起きた。その経緯と指導の在り方および生徒への今後の対応について問う。
答 事件の経緯は新聞報道のとおりである。指導については、生徒に対し深い愛情を持ち親身になって接してきた。また、市独自に相談員や警察OBの補導員を配置し取り組んでいる。今後は地域の情報も大切に、見直しを計りながら進めていきたい。生徒の将来については少しでもよくなるように保護者や学校と一緒に全力で取り組んでいく。

市政に対する一般質問

横山 強 議員

防災対策について

問 地震・津波災害防止対策として、今後の施策と園児・児童の避難対策を問う。
答 自治体や自主防災組織と連携した防災意識の啓発を積極的に進めるとともに、市では、津波・高潮被害が想定できる区域への津波潮位標識の設置と避難所の標高調査に基づく標識の設置を考えている。教育委員会では、防災教育・訓練の実施、そして自ら判断できる子どもを育成するように今後とも指導したい。

入札について

問 指名・一般競争入札の営業所認定基準と、今後の指名競争入札の方向性を問う。
答 市内に営業所がある市外土木業者が入札に参加するかどうかは、基本的に、土木一式工事は、市の入札参加者の選定等取扱要領で、一般競争入札の対象工事を定めている。市の建設工事指名競争入札における指名業者選定に当たっては、今後とも公正・公平と透明性の確保に努める。

浜口 恭行 議員

災害情報の携帯配信について

問 災害情報の携帯配信「エリアメール」を導入しては。
答 実施自治体に問合せし、検討していきたい。

(仮称)三豊市新学校給食センターの基本構想について

問 基本構想では、市内2カ所のセンター化構想となっている。国の食育基本法や食育推進計画ではセンター方式よりも、単独調理場の自校方式が望ましいという記述があるがどう考えているか。
答 センター方式・自校方式両方のメリット・デメリットを考えて出されたのが答申であり、教育委員会として一つの方向性を出していきたい。

問 旧詫間町内は自校方式が多く、新しい施設もある。今ある施設をなぜ有効利用しないのか。
答 新しい施設もあるが、基本構想で動いた時に自校方式では、栄養教諭がつかないなど付帯的要素が入ると考えている。



山本 明 議員

ごみ処理施設整備について

問 ごみ処理施設の整備に対する姿勢と考え方を問う。
答 市は、まちづくりのコンセプトとして「循環型環境都市三豊」を掲げ、ごみを資源として循環するまちの実現に向けて取り組んでいる。事業展開の基本的な考え方として、家庭から出される燃えるごみはバイオマスと捉え、バイオマスタウン構想により、これをエネルギーとして循環させる方式によって行うことを提案している。これにより、施設に対する考え方も、ごみ処理場ではなく、新エネルギーセンターとして位置付けている。この方向性は、今回の東日本大震災後に発生した日本全国のエネルギー問題からも間違っていないと確信している。実現化については、技術は民にあることを前提に、民間活力を最大限に導入し、地域産業の育成振興を図ることとしたと考えている。

○その他「デマンドタクシー」を質問。

小林 照武 議員

危険な老朽ため池の防災管理について

問 市内のため池の数と危険な老朽ため池の数を問う。未調査の場合には調査の予定時期についても問う。中山間地域外のため、従来不利となっていた詫間町地内への補助率の低い事業への採択条件などについて、併せて、個人所有の老朽ため池埋め立て工事への可能性についても問う。
答 市内には、個人池を含め2,903カ所のうち、公有名義が1,398カ所あり、県の老朽ため池資料によると、22カ所の老朽ため池がある。実態調査については次年度での対応を検討する。補助率の良い県営事業が適用となるが、詫間地区の場合、対象となる複数ため池の実質受益面積の合計が10ha以上の要件を満たすことに留意する必要がある。個人所有の老朽ため池の埋め立ては可能であるが、二次災害の誘引とならないよう市土地改良課との十分な事前協議が必要である。

瀧本文子 議員

学校給食センター化について

問 5年後に新センター2カ所に集約するという基本構想だが、災害時の炊き出し対応・食物アレルギー・生ゴミの堆肥化・栄養職員の配置・地産地消・民営化の是非などについて問う。また、市の自校方式給食は全国に誇れるレベルにある。自校方式は子どもの情操や豊かな人間性を育てる大きな力になると思うが、センター方式をなぜ進めるのか問う。
答 災害時対応は基本設計協議の中で検討したい。食物アレルギーはガイドライン策定を検討。生ゴミは処理機で堆肥化し、学校菜園で利用。栄養職員は市独自の配置の検討も。地産地消は農家の組織化と作物量の確保が課題。将来的に民営化の検討も必要と考える。



センター方式は、衛生・事務・業務管理の集中化が図れ、安全・安心な給食が提供できると考える。

水本真奈美 議員

被災者支援システムについて

問 災害時に行政サービスを提供可能にする同システムの導入を問う。

答 観音寺市や関係部署と協議し早期に検討、結論を出す。

問 災害時の障害者への対応、ストーマと専用トイレ備蓄についての考えを問う。

答 要援護障害者の緊急受入先として福祉施設と協定を結んでいる。備蓄用品は確認し今後、検討していきたい。

動物介在療法について

問 命を大切に、殺処分減少を目指しての啓発、介護予防やリハビリに貢献する動物介在療法推進について問う。

答 22年度は犬21頭、猫135匹が殺処分となり、飼い主は責任を持って飼育をお願いしたい。動物介在療法は介護サービス事業者協議会で話し合う。

期日前投票手続の簡素化

問 入場券の裏面に宣誓書を印刷し、期日前に投票しやすい制度改善について問う。

答 高齢者や障害者の配慮の点からも検討していきたい。

込山文吉 議員

「防災計画」「防災教育」

問 防災計画見直しと、津波避難マップ作成の考えを問う。

答 中央防災会議の取りまとめを踏まえ、県地域防災計画の見直しが見込まれるが、24年度になる見込み。市独自で住民に対する情報伝達手段・職員行動計画の整備など、早期に見直し作業に着手する考え。津波避難マップ作成についても深く検討していく。

問 児童生徒に対する防災教育および学校施設の防災機能の現状と課題を問う。

答 自らの安全を守る自助の確立。自分たちが考えた防災訓練が求められる。危機管理室とどう調整していくかが今問われている。

業務継続計画について

問 業務継続計画策定と自治体クラウド推進の考えを問う。

答 21年に新型インフルエンザ発生を想定して業務継続計画を作成。自治体クラウドは総務省も推進しており、調査をしている。全国的な動向を見据え検討していく。

金子辰男 議員

三豊ふるさと会について

問 活動状況・今年度予定事業・運営方針を問う。

答 関東三豊市ふるさと会は、首都圏販路開拓を目的としたビジネスマッチング事業・三豊ふるさと大使就任式への参加など、東京開催の三豊市への事業サポートを行い、今年度はふるさと帰省ツアー・讃岐うどん親睦の会などを予定。関西での設立は、大阪香川県人会・各高校の同窓会組織の事務局と連携を取り、年内に設立総会を実施したい。ふるさと会の活動からも市の知名度向上や地域振興を図りたい。

問 若者定住促進地域経済活性化事業の利用状況および空き家の利活用を問う。

答 若者が安心して住める場所整備の一環であるこの事業の申請受理件数は6件。倒壊の恐れのない空き家は市内1,043件。利活用には空き家所有者の意向把握が必要。合理的・効果的方法を検討し、対応方針を見出したい。

総務教育常任委員会

6月21日開催の総務教育常任委員会には、8議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

問 動産の買入れについて

市消防車両の更新は、現在の機械の性能などから考えると、20年の更新にこだわる必要はなく、また屯所もそこにあるからといって、割り当てで順番に配備する計画となっているが、屯所の統廃合も含め、思い切った発想の転換の考えはないのか。また、指名競争入札で6社を指名したのに、3社が辞退したことについて、現場説明時にこのような問題が起きていることについて、通知文書に書いているのか。

答 屯所数などを見直していくことで、現在消防再編計画を団内部で策定中である。その再編計画に基づき、屯所ならびに消防車を配備する予定である。今回の7台も今後残す屯所に配備するものである。消防車の購入は、物品の消防車で指名願いの出ている県内の事業者6社を指名して入札を行った。指名競争入札の執行通知書の送付時に、1社になった場合には入札を中止する旨をうたっている。

問 23年度一般会計補正予算関係部分 文書館の臨時職員4人の雇用について、緊急雇用補助金が切れた後の整備および将来的な適正人員について。

答 これからの3年間は内部の文書整理または外部に見せるための文書整理を行う予定である。緊急雇用については、当初の人員では2〜3年かかるであろう作業をより早くするために制度を活用し、次の選別作業に早く入ろうとするものである。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり承認または可決した。



詫間 政司 議員

三豊クリーンセンター閉鎖後のごみ処理について

問 当施設は、25年3月31日で稼働終了する。次期ごみ処理施設の完成までには2年以上の期間を要するため、25年4月1日には間に合わないことが明らかだ。当施設閉鎖後から次期施設稼働までの空白期間の対応を問う。

答 市民生活に影響が出ないように、いくつかの選択肢の中で選択して確実に行う。そのためには、災害時の広域総合協力体制の確立が欠かせないため至急取り組む。

新学校給食センター基本構想の方式と、弁当の日との関係について

問 センター方式か



自校方式か、いずれの方式であっても、弁当の日との組み合わせで、大きな教育効果が期待できる。教育的観点からの有効な運用の考えを問う。

答 単に給食を作るだけでなく、食の拠点として学校と家庭が一緒に取り組む、食育の推進を根本にしたいと考える。

藤田 公正 議員

知名度向上とインフラ整備について

問 知名度向上に向け、四国の観光・県内スポーツ大会の拠点など、位置的な紹介や三豊の土地柄などの紹介を。また、民間投資が見込める地域のインフラ整備をどう進めるのか。さらに、安心安全のために旧町間の水道管接続で消火栓の機能充実を。

答 知名度向上は、企業誘致や観光など産業の振興・定住促進で重要。観光やスポーツ大会の拠点としての位置付けや三豊の風土など映像で伝えていきたい。インフラ整備は今後、市外の皆さんの視点でも事業を展開したい。消火栓の充実、消防団と確認をしていきたい。

問 今回の大震災や世界の経済情勢から、企業のリスク分散とインフレを懸念した資産家の個人投資の時期が来ている。併せてインフラ整備を。

答 地域間競争は世界レベルで始まっており、そのための環境整備は重要と認識。

多田 治 議員

原材料支給、道路・舗装パトロール事業について

問 道路・舗装パトロール事業の要望受付から完了までの流れは。

答 事業箇所は、自治会の申し出、職員・一般市民・業者の情報提供があった場合に現場確認を行い、当該事業者が市が指示を出して対応している。

問 島嶼部・山間地など地理的悪条件の地域は、不利な扱いになっていないか？また、市全体の実施状況を問う。

答 離島への原材料支給は海上運搬費を認め、道路パトロールであれば島嶼部・山間部でも工事を行い公平性は保たれている。昨年1年間で、原材料支給252件、機械借り上げ115件。同一自治会で補助限度額を超える複数回支給はない。

民生委員の選任について

問 民生・児童委員の中に適格要件第6項【個人の人格を尊重：生活上、精神上的の秘密を固く守れることのできる者】に欠ける委員がいるのではないか？

答 そのような委員はいない。

建設経済常任委員会

6月23日開催の建設経済常任委員会には、2議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

問 水道事業給水条例の一部改正

現在徴収している「開栓手数料」・「閉栓手数料」各3千円を、7月1日から徴収しないというもの。県内8市ではほとんどの自治体が徴収をしていない。徴収をしないことによる減収は年間約300万円など、詳細な説明を受け、質疑なし。

問 23年度一般会計補正予算関係部分 農業振興費において、アライグマなどの特定外来生物捕獲謝礼として、報償金の増額補正予算が計上されているが、現時点における捕獲実数と今後の見込みは何頭か。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。



▲捕獲したアライグマ

5月末時点で、アライグマが8頭、ハクビシン7頭が捕獲されており、6月に入っても増加傾向にある。今後の見込みは、昨年度の実績である、アライグマ60頭、ハクビシン24頭を上回るものと予想している。

一般質問の項目など事前に お知らせしています

定例会で行われる一般質問の日程、質問する議員名、質問の項目を、その前日までに「三豊市議会ホームページ」でお知らせしています。傍聴やインターネット議会中継を見る際の参考にしてください。

鴨田 借議員

岩田 秀樹 議員

三木 秀樹 議員

民生常任委員会

6月22日開催の民生常任委員会には、10議案が付託され審査した。

市民対話集会について

問 今回5月18日から17日で開催した市民対話集会においての市民の総参加数が185人で非常に少なかったように思われるが、どう受け止めているのか。また、市民対話集会に対して、今後どう取り組まれるのか市長の考えを問う。

答 どの会場でも建設的な意見をいただき、有意義な集会であったと思っている。今後については、2年間を検討して、具体的な方向を出していきたい。

防災対策について

問 災害時には、いつも生活弱者の高齢者や身体障害者が数多く被害にあうケースがあるが、市は災害時要援護者支援制度にどのように取り組まれているのか。

答 国の災害時要援護者の避難支援指針を踏まえ、要援護者の住居位置図・登録台帳を作成し、要援護者情報の把握に努め、災害時には地元自治会長や民生委員に避難行動などの支援をお願いしている。

原発事故は生活、人生だけでなく、地域も奪う！

問 東京電力・福島原発の事故は、放射性物質が放出され続け、収束の見通しが立っていない。原子力発電は、「使用済み燃料棒」の放射能廃棄物の処理方法も決まっていないう未完成で危険な技術。原発に依存し続けるのではなく、再生可能エネルギー普及に舵を切ることが必要では。自治体での自然エネルギー活用・省資源・低エネルギーに対する取り組みはどうか。

答 昨年に続き太陽光発電住宅補助制度を継続し、公共施設への導入も積極的に取り組んでいきたい。また省電力型のLED化も順次進めたい。

学校耐震化の進捗について

問 学校耐震補強の今年度計画から残された施設は、一時的にでも避難場所になっている、古い施設であり改築も待ったなしの課題ではないか。

答 昨年度末の耐震化率は92%。古い施設は、改築を視野に入れ計画したい。

市政に大きく影響する国政と原発、市長の対応を問う

問 6月初め、民主・自民の大連立政権構想が急浮上。民主政治をゆがめ、危険なこの政権についての所見は。また、国の補助金カットの動き。幼稚園・中学校でのエアコン設置に影響はないのか。

市長 国家観のない大連立は全く危険で反対。また、指摘のとおり補助金がかットされている。一定の混乱を国政も覚悟の大きな問題だ。

答 補助金がない場合はエアコン設置はない。

問 東海・東南海・南海地震の三つが連動すれば、マグニチュード9.0の大地震が予想され、かつ伊方原発の目下に世界最大級の活断層があり、その地震は直下型の強烈な揺れで同原発を襲う。伊方原発に市民の不安を払拭する各種安全策を要求しては。

市長 県市長会などで私も確認も含め発言していく。○その他「臨時職員問題」、「統合問題」、「防災対策」を質問。

主な質疑と答弁

問 (健康福祉部関係) 予防接種等健康被害調査委員会設置条例の制定 健康被害について、三豊市の実態は。

答 ヒブワクチン、小児肺炎球菌の予防接種をしている。三豊市に事例はないが、全国では8件の死亡事例がある。

問 健康被害が出た場合、その手続と流れについて。

答 健康被害調査委員会は、その実態を調査・審議し、市長に報告する。補償は、総合賠償保険で対応。因果関係は、厚生労働省の調査検討委員会になる。

問 (市民部関係) 不動産の買入れについて 三観広域電算センター処理と三豊市単独処理の比較検証はできているのか。

答 今回は、検証はできていないが、システム設計に経費が掛かることや、専門家の養成が必要。次回の更新までに

は検証したい。

問 三観広域のデータなど、災害安全対策は。

答 三観広域として、バックアップデータを作成し、安全な場所で保管している。また、戸籍は法務局にも副本がある。

問 23年度一般会計補正予算(健康福祉部関係) 地域医療検討事業で設置する「地域医療のあり方検討委員会」の組織・所掌事務はどうか。

答 委員の数は16人程度を予定し、委員には、市立病院の院長と事務長・診療所の所長・三豊総合病院・医師会・保健所・県および香川大学医学部を考えている。24年度で、市の医療機関の整備計画的なものを樹立していきたい。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり承認または可決した。

おめでとうおめでとうございます

春の叙勲および危険業務従事者叙勲の発表があり、三豊市からは次の皆さんが受章されました。(敬称略)

春の叙勲

◆瑞宝双光章

【行政相談功労】

十鳥 茂義(豊中町)

◆瑞宝単光章

安藤 三徳(高瀬町)

小山 昇(豊中町)

藤原 俊治(高瀬町)

危険業務従事者叙勲

◆瑞宝単光章

【防衛功労】

富田 光義(詫間町)

人権擁護委員に委嘱されました

平成23年7月1日付けで、次の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。(敬称略)

丸岡 有美子(三野町 新任)

大矢根 節子(仁尾町 再任)

水難事故に注意!

市内には、ため池が多数あり、また、台風や大雨で増水した川や波の高い海辺などで遊んでいて事故にあう場合があります。



水遊びは必ず大人と一緒に安全な場所で行うなど、水難事故防止に努めましょう。

問い合わせ 三豊警察署 ☎72・0110

ふるさと納税

～ふるさと三豊への想いを届けてください～



ふるさと納税とは、ふるさと(応援したい、貢献したいと思う三豊市などの地方公共団体)への寄附のことで、所得税と住民税から一定額の控除を受けられる制度です。

【平成22年度ふるさと三豊応援寄附の活用状況】

平成22年度に皆さまからいただいた寄附金は、平成23年度において次の事業に活用させていただいています。心からお礼申し上げます。【寄附の件数】19件(複数の事業に指定可) 【寄附の総額】2,105,000円

Table with 6 columns: 事業名, 内容, 件数(件), 金額(円), 充当先(事業名), 金額(円). It lists various support activities like education, environment, and sports with their respective funding amounts.

寄附金は、1件5,000円から受け付けます。3万円以上の寄附金をいただいた市外在住の人へは、感謝の気持ちとして「ふるさと三豊のフルーツ」をお贈りします。

寄附申込書は、市ホームページからダウンロードいただくか、お電話いただければ送付します。納付方法は、郵便振替・市指定の納付書・現金書留による払い込みのいずれかの方法でお願いします。

申し込み・問い合わせ 秘書課 ☎73-3001



三豊市の皆さんへ

私たちは、4カ月の滞在の中で感じた粟島を作品にして無事発表することができました。成果発表会には、多くの方が島に来てくださり、少しだけ島の皆さんに恩返しできたのかなと思います。島民の皆さんの温かいおもてなしの心に包まれた生活の中で創った作品たちは、これからも島の人たちと一緒に生きていきます。これからは粟島での思い出を胸にそれぞれのフィールドで創作活動を続けていきます。たくさんの思い出をありがとう。

戸田祥子
ルカ ローマ
ロザノ キャサリン



1 作品作りにデジカメを使う
2 廃材を集めてアートにするワークショップ
3 子どもたちが参加したミラーボール作り
4 粟島中学校講堂にある島民の芸術家応援アート
5 孫のために作ったつくもがみ
6 運営委員会の皆さんが緑の下力持ち
7 ワorkshop参加者の作品も展示される
8 滞在中市内外から多勢の人が訪れました
9 島の竹を作品に

島で暮らし
島のこころに触れ
感謝の気持ちを作品に
それがアーティスト・イン・レジデンス



アーティストとめぐる 粟島・小豆島芸術家村作品鑑賞クルーズ

粟島、小豆島アーティスト・イン・レジデンス招へい作家の“島”をテーマに制作した作品鑑賞クルージングと島ならではの食事を楽しむツアーを開催します。作品に込めた思いをアーティストに聞きながら、夏の瀬戸内海をクルーズしましょう。

日時：8月17日(水) 参加料：中学生以上7,800円 小学生以下5,800円
コース：詫間港宮ノ下棧橋(8:30発)→粟島港→粟島芸術家村作品鑑賞→小豆島ふるさと村芸術作品鑑賞(昼食)→アート・ツアーバスで三都半島一円の芸術家村作品鑑賞→粟島港(18:40頃着)→宮ノ下港(19:10頃着)

▶申し込み・問い合わせ 三豊市観光協会 ☎56-9121



7/14 おいしそうな夏野菜がいっぱい

上高野小学校2年生と笠田高校農産科学科3年生が「生ごみリサイクル元気野菜作り」で育てた夏野菜を収穫しました。生ごみ肥料で土作りをして育てた野菜は格別で、この日はピザを作っておいしくいただきました。



6/9 田植えの前のひと遊び

二ノ宮幼稚園の園児が田んぼで泥んこ遊びをしました。バシャバシャと水をはね、友だちと競争したり、座り込んで足に泥を乗せたり、寝そべったり…と先生や友だち、地域の人たちと一緒に元気いっぱい遊びました。



6/23 ベビーマッサージでリラックス

高瀬地域子育て支援センターでベビーマッサージ教室が行われました。お母さんは赤ちゃんの背中をさすったり、手を伸ばしたり、足の裏をもんだりと簡単にできるマッサージで赤ちゃん楽しくふれあいました。



7/1 幼稚園児が一日保護観察官に

第61回社会を明るくする運動出発式が高瀬町農村環境改善センターで行われました。一日保護観察官の委嘱を受けた麻幼稚園の大西俊輔くん和高木翠さんが、法務大臣と県知事のメッセージを市長に伝達しました。



7/12 お兄ちゃん、お姉ちゃんと楽しいプール遊び

来年1年生になる詫間幼稚園と須田保育所の子どもたち38人が詫間小学校5年生の児童とプール交流を行いました。来年からお世話になるお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊んだプールはとっても楽しいとはしゃいでいました。



6/26 大阪でブドウのトップセールス

平成23年産ブドウの本格的な出荷を前に市長が大阪市中央卸売市場でトップセールスを行いました。ブドウ生産者やJA香川県関係者も同行し、主力品種のピオーネを配り、今年産の出来栄をせり人や買参人にPRしました。



7/5 地域のためにカーブミラー清掃

高三人研推進委員会の皆さんが、今年度初めて通学路にあるカーブミラーの清掃に取り組みました。高い所は脚立を使い約1時間の清掃で高瀬町と三野町内のカーブミラーはすっかりきれいになりました。

みどよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)

7/16・17 第10回高瀬空射矢まつり

40連1,500人の踊り子が集結して、第10回高瀬空射矢まつりが三豊市役所周辺で開催されました。第10回記念として茶摘み音頭の流し踊りが復活。市歌をアレンジした「七宝のかぜ」よさこいバージョンの披露やバンドライブなど、熱気を帯びた2日間の幕が閉じました。



6/24 迅速連携は防災訓練から

第6回三豊市建設業協会安全・防災訓練が詫間町市民運動場近くの広場で行われました。災害時の支援復旧活動を迅速に行えるようにと毎年実施。市と建設業協会が迅速に連携出来るように、連絡体制も確認しました。



6/24 世界で1つの作品を完成

仁尾小学校で佐伯榮一さんと河野邦義さんによる陶芸教室が行われました。児童は初めての道具に触れ、慣れない手つきでコーヒークップを作成しました。秋に色付けをし、世界で1つの作品が完成します。



6/28 頭を使って楽しく認知症予防

地域包括支援センターの認知症予防講座「脳きらり教室」が仁尾町文化会館で行われました。頭と体を使って、楽しく遊びながら脳を働かせる「脳きらり教室」は、毎回人気の教室で毎月各地区で開催しています。

特別児童扶養手当のご案内

特別児童扶養手当は、身体や精神に障がいのある児童を育てている人に支給される手当です。

● 受給資格者

20歳未満で身体または精神に重度または中度以上の障がいをお持ちの子どもを、監護している父もしくは母、または養育者。

● 手当月額（平成23年4月現在）

1級（重度障害児） 50,550円
2級（中度障害児） 33,670円

※所得により手当の支給が停止されることがあります。

● 受給できない場合

- ・児童や、父もしくは母、または養育者が日本国内に住んでいないとき
- ・児童が、障がいを支給事由とする公的年金を受け取ることができるとき
- ・児童が児童福祉施設等に入所しているとき

● 手当を受けるには

福祉課または各支所へ必要書類を添付して、認定請求書提出してください。

● 所得状況届

毎年8月に「所得状況届」を市役所に提出することになります。8月上旬に、受給資格者へ所得状況届に関する通知を送付しますので、内容を確認し、手続きを行ってください。

▼問い合わせ 福祉課 ☎73・3015

じんけん探訪17

同和をかたる不法行為

誤解していませんか

◆ 会社や施設に電話

▽福祉施設に同和団体を名乗った電話がかかり「1冊5万円の本を購入してほしい」と要求されました。



高額図書は押し売りは、電話が利用され、先方は連絡先を言わず一方的である

▽建設会社に電話がかかり「同和問題の解決に協力してほしい。図書を送るので振り込んでほしい」と要求されました。「知らない」と答えると突然先方は声を荒げました。

▽学校や寺院、個人宛にも同様な電話が入り、4万円を超える書籍の購入要求があり、断ると威圧的な言葉遣いに豹変します。

▽他にも交通事故などのトラブルにかかわって、あなたも同和関係者であるかのようなふりをして威圧するケース等も発生しています。（※注）

その結果、同和地区関係者に対する否定的なイメージが増幅され、問題解決を遅らせる大きな原因となっています。このような行為を法務省は「えせ同和行為」と呼んでいます。行為者も問題ですが、「同和問題はこわいこと」と誤解して避けようとして、不法な圧力や要求に屈したりしている側にも問題はないでしょうか。

法務省の見解

「同和問題は怖い問題である」という意識がなお根強く残っていることに乗じ、同和問題を口実とする不当な要求、不当な行為などのえせ同和行為が横行し、大きな社会問題となっているが、えせ同和行為はこれまで為されてきた啓発の効果を一挙に覆し同和問題に対する誤った意識を植え付ける大きな原因となっている。（「えせ同和行為対策大綱」抜粋）

少年育成センター

不審者メール配信サービスを活用していますか？

少年育成センターでは、子どもたちの安全を守るために、不審者情報をメールで一斉配信しています。

次のどちらかの方法で、メールアドレスを登録し、知りたい情報を選ぶと、携帯電話や家のパソコンでメールを受け取ることができます。

【登録方法】

方法① 携帯電話で次のQRコードを読み取り、メニューの「メール配信サービス」から登録。



QRコード

方法② 次のメールアドレスに空メールを送信する。
mitoyo1012@k.8island.jp



▲不審者情報メール受信画面

▼問い合わせ

少年育成センター
☎62・11115



◆ 図書押し売りへの対応

▽不要な場合は「いりません」とはっきり断って電話を切ります。「いいです」とか「結構です」は承諾したとみられます。

▽契約していない図書を勝手に送り付けて代金を請求するのは違法行為ですので返送（受け取り拒否）します。送料は先方負担となります。

▽電話で「買う」と言った場合は「フリーング・オフ」という解約制度を利用します。契約内容を「解約します」と明記して内容証明で先方に通知します。

（※注）2010年1月、岡山県警は恐喝容疑で8人を逮捕しました。同和団体名を名乗って「買わないと若い者が行くぞ」などと電話で脅し、1冊5〜6万円で購入を押し売りしていました。全員、同和団体とは無関係の出社社員でした。



勝手に送り付けられた図書は、分厚いボックスケースに入り、とても重い

同和問題啓発強調月間

三豊市人権・同和問題講演会

日時 8月24日（水）午後2時〜3時30分

場所 マリンウェーブ

講師 栗原 美和子 先生

（テレビドラマプロデューサー・作家）

テーマ 「橋はかかる」

「プロデューサーと猿まわし芸人

私たち夫婦にできること」

※手話通訳・要約筆記有り

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

すでに約3,000人が登録!!

みとよHOT NEWS



6/18 ビオトープで空中田植え

財田里山ビオトープで空中田植えなど環境活動体験が行われました。空中田植えのほか、貴重植物の繁殖を図るため、植物を分けて湿地帯に移したり、昆虫や水生生物などを採取し、名前を調べる自然観察会も行いました。

6/29 カレーパーティーで交流会

比地二幼稚園児と比地小学校の1年生が「カレーパーティー」をしました。5歳児が自分たちで植えた野菜を使ってカレーを作り、1年生を園に招待したもので、小学生らしくなった1年生をまぶしそうに見ていました。



7/3 「中四国・瀬戸内クルージングサミット」開催

中四国・瀬戸内クルージングサミットが新居浜マリーナで開催されました。「海路」としての瀬戸内海を見直し、「海辺の文化」を創造することで、関係市相互の連携や地域の活性化を図ることを約束しました。



みとよHOT NEWS



6/25 笑った笑った介護予防講演会

落語家の笑福亭学光氏を迎えて「笑って笑ってお元気に」と題した介護予防講演会がマリンウェーブで行われました。自身の体験談を含めながら、身振り手振りで話し、参加している人は終始笑いに包まれていました。

後期高齢者医療制度
限度額適用・標準負担額減額認定証
(新規申請)の交付

今年度の住民税が非課税世帯の人は、申請することにより8月1日以降適用になる「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

この認定証を入院時に医療機関等の窓口に表示すれば、入院時の一部負担金や食事代が減額されます。

●対象

- ・被保険者が属する世帯員全員が住民税非課税である人(区分Ⅱ)
- ・被保険者が属する世帯員全員が住民税非課税で、世帯員全員の各所得金額(年金所得は控除額を80万円として計算)が0円である人(区分Ⅰ)

●手続きに必要なもの

- ・被保険者証
- ・印鑑

平成23年度非課税証明書(本人または世帯員が平成23年1月1日に市内に在住していない場合)

※手続きは健康課または各支所でできます。

※平成22年度に認定証の交付を受け、引き続き対象要件を満たしている人には、有効期間を更新した認定証を送付しています。

区分		食事代(1食あたり)	1カ月の自己負担限度額
一般		260円	44,400円
区分Ⅱ	過去1年の合計入院日数が90日※以内の場合	210円	24,600円
	過去1年の合計入院日数が90日※を超える場合	160円	
区分Ⅰ		100円	15,000円

※過去1年の区分Ⅱの限度額適用・標準負担額減額認定を受けていた期間の入院日数

▼問い合わせ
健康課 ☎73・3014
香川県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎087(811)1866

国民年金保険料の免除制度のお知らせ

国民年金保険料の納付が困難な場合は「保険料の免除制度」があります。

所得が少ないなど、保険料を納めることが経済的に困難な場合には、本人の申請手続きにより保険料の納付が「免除」、「一部納付(一部免除)」、または「猶予」される制度があります。

●免除制度は次の3種類

- ①免除(全額免除・一部納付)申請
本人、世帯主、配偶者の前年所得が一定額以下の場合に申請手続きをすることにより、保険料の納付が全額免除または半額納付などの一部納付となります。なお一部納付額が未納の場合、未納と同じになります。
- ②若年者納付猶予申請
30歳未満の人で、本人・配偶者の前年所得が一定額以下の場合に、申請手続きをすることにより、保険料の納付が猶予されます。
- ③学生納付特例申請
学生で本人の所得が一定額以下の場合に申請することにより、保険料の納付が猶予されます。

保険料免除を申請する人は、年金手帳および納付書印鑑、離職票または雇用保険受給資格者証等を持って、市民課または各支所で手続きをしてください。
※確定申告をしていない人は、税務課または各支所で相談してください。
※今年転入した人は、前住所地(平成23年1月1日現在)での所得証明書が必要です。

▼問い合わせ
市民課 ☎73・3005
普通年金事務所 ☎0877(62)1660

ひとり親家庭等医療費助成制度が開始
(父子家庭等も対象)

8月から「母子家庭等医療費助成制度」が「ひとり親家庭等医療費助成制度」となり、父子家庭等の父も助成の対象となります。

●対象

- 次のいずれかに該当する児童(18歳到達後最初の3月31日まで)について、父がその児童を監護し、かつ生計を同じくしている場合に対象となります。
- ①父母が婚姻を解消した児童
- ②母が死亡した児童
- ③母が重度の障がいのある状態にある児童
- ④母の生死が明らかでない児童
- ⑤その他(母から1年以上遺棄されている児童など)

●助成開始日

認定された月の初日から助成されます。

医療費の助成を受けるためには受給資格の登録申請が必要です。健康課または各支所で手続きをしてください。

●必要なもの

- ①保険証
 - ②金融機関の預金通帳の写し
 - ③印鑑
- ※平成23年1月1日に三豊市に住所がなかった人は所得証明書が必要です。
※所得制限限度額を超えた場合は助成されません。
※母子家庭等医療費助成制度該当者は登録申請の必要はありません。



▼問い合わせ 健康課 ☎73・3014

日常生活用具の給付をします

小児慢性特定疾患治療研究事業の対象疾病で在宅療養をしている、日常生活を営むのに著しく支障のある児童に、次の日常生活用具を給付します。(世帯の課税状況に応じた自己負担が必要です)

- 便器・特殊マット・特殊便器・特殊寝台・歩行支援用具・入浴補助用具・特殊尿器・体位変換器・車いす・頭部保護帽・電気式たん吸引器・クールベスト・紫外線カットクリーム・ネブライザー(吸入器)・パルスオキシメーター

▼問い合わせ 子育て支援課 ☎73・3016

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳をお持ちの人に福祉年金が支給されます

●対象

- ・平成23年7月1日以前1年間、市内に在住している人
- ・在宅で生活をしている人(障害者施設、老人ホーム等入所者は対象となりません)
- ・※転出入・死亡等により支給に制限があります。

●支給額

- 8,000円～14,000円(年額)
- ・障がいの種類や程度または年齢により支給額が異なります。
- ・65歳以上の人は支給額の半額を支給します。

●申請

福祉年金を受けるには申請が必要です。今までに申請された人は、再度の申請は必要ありません。新規に手帳を取得された人は市から送られた申請書と各手帳、振込先の通帳をお持ちのうえ、福祉課または各支所で手続きをしてください。

▼問い合わせ 福祉課 ☎73・3015

みとよHOT NEWS



6/15 やった!おばけ玉ねぎがとれたよ

大浜幼稚園でじゃがいも、玉ねぎ、梅の実の収穫を行いました。「やさいえん」では地域の人たちからいただいた苗を植え、育てています。収穫したじゃがいも・玉ねぎはみんなでカレーを作り、梅の実は梅干しにする予定です。

6/9~12 全国ラージボール卓球大会で優勝

「第24回全国ラージボール卓球大会」で、真鍋英雄さん(高瀬町)が優勝しました。男子シングルス70(70~75歳未満)のクラスと、男子ダブルス140(合計140歳以上)のクラスでW優勝。卓球は真鍋さんの生きがいになっているそうです。



7/5 全国大会出場おめでとう!(全国小学生陸上交流大会)

全国小学生陸上交流大会に出場する小学生が市長を表敬訪問しました。100mに出場の林貢くん、松浦圭祐くんは「自己ベストを目指します」と80m障害に出場の山下和毅くんは「全国でも入賞したい」と思いを伝えました。



みとよHOT NEWS



6/26 地域文化の発展を支える文書館がオープン

三豊市文書館の開館記念式典が行われました。郷土の歴史的・文化的価値のある文書や地域資料、刊行物などを収集し、市民の共有財産として将来に引き継ぐとともに、市民が閲覧できるように整理・保管しています。

がん検診・健康診査のお知らせ

▶ 問い合わせ 健康課 ☎73-3014



【がん検診】

●子宮頸がん検診・乳がん検診●

集団検診を下記の日程で行います。同封の「ご案内」をご覧ください。受診する時には、7月に届いた白い封筒を必ずご持参ください。なお、子宮頸がん検診・乳がん検診(予約制)の申し込みがまだの方は健康課までお問い合わせください。
仁尾町・高瀬町は9月の予定です。

場 所	月 日	受 付 時 間	
		子宮頸がん	乳がん
山本町 保健センター	8月24日(水)	13:00~15:00 (14:00検診開始)	個人通知でお知らせします
	25日(木)		
豊中町 保健センター	30日(火)		
	31日(水)		
	9月1日(木)		
財田町コスモス	6日(火)		

◎子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン(対象者に送付)をお持ちの方は、ぜひ検診を受けましょう。

●胃がん・結核、肺がん・大腸がん検診●

9月に案内が届きます。申し込みがまだの方は健康課までお問い合わせください。
※大腸がん検診は医療機関でも受診できます。



【健康診査】

集団健診の特定健康診査・健康診査を受診していない人は、市内および観音寺市の実施医療機関で受診できます。同封の「ご案内」をご覧ください。受診する時には6月に届いている青い封筒と保険証を必ずご持参ください。なお、受診前には問診票に記入してご持参ください。

区 分	受診期限	受付時間	場 所
医療機関健診	10月31日(月)まで	医療機関にお問い合わせください	三豊市・観音寺市の実施医療機関

検診で予防を！早期発見を！

検診で早期に見つかる乳がん!!

平成18年度〜22年度の市の乳がん検診で、43人ががんが見つかりました。
乳がん予防の1つは、検診を受けることです。40歳以上の女性は、市内各所で実施の集団検診または指定医療機関で乳がん検診が受けられます。(ただし、平成22年度に市の検診を受けた人は除きます)
また乳がんは自分で発見できるがんのひとつです。毎月月経終了の1週間後に、また閉経した人は毎月、日を決めて自己触診を行いましょう。
この機会にぜひ検診を受けましょう。検診を希望する人は、健康課までお問い合わせください。



▼問い合わせ 健康課 ☎73-3014

子宮頸がん予防ワクチンの接種が再開

一定量のワクチンが確保できたため、接種が再開されています。希望者は医療機関で接種してください。

●対象者

● 中学1年生〜高校2年生相当年齢の女性
詳しくは三豊市ホームページに掲載しています。

▼問い合わせ 健康課 ☎73-3014

健康長寿応援

言葉さがして介護予防

口の周囲の筋肉や舌の筋肉は、体の筋肉同様トレーニングしないと筋力が低下します。それらの筋力が低下すると、発音が不明瞭になったり、食事中口から食べ物が出たり、飲み込む時にむせるなどの症状が現れます。

「ば」「た」「か」「ら」の文字を含んだ言葉が発音することで、口の周囲や舌の筋肉トレーニングになります。ちよつと時間のある時に、「ば」「た」「か」「ら」の文字を含む言葉をおさがし、その言葉を何度も発音しましょう。これは認知症予防にもなります。

ちよつと時間のあるときに試してみてください。

▼問い合わせ

地域包括支援センター(介護保険課内)
☎73-3017



健康知っ得情報

みんな元気に

COPDを知っていますかー原因ー

COPDは「肺気腫」「慢性気管支炎」などの慢性閉塞性肺疾患のことです。症状はセキ、たん、軽い労作中の息切れなどです。

COPD患者の90%は喫煙者であるといわれています。また、喫煙者の発症率は年齢とともに上昇し、高齢喫煙者では50%近くが発症するとの報告があります。

予防には禁煙することが最も重要です。禁煙はCOPDの発症を減らし、進行を止める唯一の治療法で、最も効果的です。

▼問い合わせ 健康課 ☎73-3014

三豊総合病院 8月の健康教室

腎臓病教室

日時 8月18日(木) 午後3時30分〜5時

テーマ 腎臓病とサプリメント
腎不全の治療法など

男性の調理実習

日時 8月3日(水) 午前10時〜12時30分

テーマ バランスのいい簡単な調理

● 各教室とも事前予約が必要です。
● 調理実習は実費600円が必要です。

▼申し込み・問い合わせ
三豊総合病院健康管理センター ☎52-2726

熱中症を予防して元気な夏!

●熱中症の応急手当

- ・ 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせましょう
- ・ エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やしましょう



- 子どもを持つ保護者へ
 - ・ 子どもの様子を十分に観察しましょう
 - ・ 遊びの最中には水分補給や休憩を
 - ・ 外出時は服装に注意し、帽子も忘れずに
 - ・ 栄養バランスのとれた食事や運動、遊びを通して、暑さに負けない体づくりを実践しましょう
- 高齢者が熱中症にならないために
 - ・ 室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等の活用を
 - ・ のどが渇かなくても水分補給を
 - ・ 調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらいましょう

▼問い合わせ 三観広域消防本部 ☎23-3973

三豊市の 新たなバイオマス産業(6)

新

将来の「燃やせるごみ」の処理

三豊市の次期ごみ処理方式は「燃やさないで資源化する」ことが条件で、現時点で該当する処理方式は、固形燃料化、ガス化、堆肥化などが主な方式です。

それぞれの方式ごとに特徴がありますが、三豊市の理想を実現するために最も効果的な方式を、冷静な目で見極める必要があります。

この方式については、今年度の適切な時期に案をまとめ、議会に提案をいたします。そして、さらに高い位置からの審議を経て決定することになります。

施設の運営方法

ごみ処理の方式と同時に検討することになる事項に、施設の運営方法があります。従来は、行政が整備して行政が運営する公設公営方式が一般的でしたが、地方自治法の改正により、指定管理者制度が創設されたことから、行政が整備して民間企業が運営する公設民営方式が普及してきました。

また、近年では、民間活力を最大限に発揮することにより、なお効率化・合理化が図れる分野については、民間で整備して民間が運営し、行政は民間に処理委託をする民設民営方式も急速に普及し始めています。

「みんなでつくるふるさと三豊」

ごみ処理について、6月・7月号と連載してきました。2回を通じて市民の皆さんにお伝えしてきたのは、ごみの減量化による処理費用の最小化、分別の徹底と脱焼却による資源化ということです。

このうち、ごみの減量化と分別の徹底については、市民の皆さんの理解を得て順次進んでいます。脱焼却による資源化については、ごみの減量化と分別の徹底という市民の皆さんの取り組みを前提として成立するもので、現在、次期施設の処理方式の選定作業を進めています。

いよいよこれからは、これまでに検討を行った方式の中から、三豊市の次期ごみ処理方式を選定することになりますが、三豊市に住む者全員に共通する課題として、現実的な取り組みが必要です。

ごみの18分別

三豊市では「ごみはすべて資源である」という考え方を実践するため、平成21年10月から、ごみの18分別に取り組んでいます。

全国の自治体の中には、34分別による資源持ち込み方式により、ごみを出さない生産と消費のシステム構築に取り組んでいる例もあります。

比較的人口の少ない自治体で取り組まれていることから「人口が少ないからできること」という捉え方をされることもあるようですが、ごみをいかに効率よく処理するかという出口戦略に終始するのではなく、ごみを出さない仕組みづくりに取り組んだ実践は、大いに参考にすべきではないでしょうか。

三豊市の18分別は、燃やせるごみを徹底して減量化し、リサイクルごみを増加させようとするもので、三豊市にふさわしいごみ処理方式と連動することによって完結するものです。

三豊市のごみ排出量の変化を、合併前の平成15年度と、18分別実施後の平成21年度の実績と比較すると、ごみの総排出量で18・1パーセント、燃やせるごみの量で23・2パーセントも減少させ、逆にリサイクルごみは40・2パーセントも増加させることができました。

現在の「燃やせるごみ」の処理

三豊市のごみの総排出量は、平成21

を想定した訓練などの備えが必要となります。また、ガレキの処理なども発生することが予測され、単独の自治体での対応ではなく、香川県も含めて、広域共同体制の整備が求められます。

新たなバイオマス産業

私たちは、今、石油などの化石燃料やウランなどに支えられた生活を、その恩恵を受けています。しかし、その一方で、かけがえのない自然を確実に蝕んでいることにも気付いています。

このままでいいのか、便利であれば、効率的であればそれでいいのか、子どもたちの未来は三豊市の豊かで美しい自然とともにあるのでしょうか。

今、私たちがしなければならぬのは、議論や研究だけを重ねることではなく、三豊市の未来のために、何が必要かを見出し、行動を始めることではないでしょうか。

既に三豊市は動き始めています。向こう20年から30年、今の子どもたちが大人になって活躍する時代、ごみ処理も今までの方式ではだめだと、三豊市の地域づくりは、未来へと限りなく発展しなければならず、そのためには、今納得できるものではなく、将来これで良かったと思えるものでなければなりません。

そして、自治体の役目も、行政のみによる自己完結型ではなく、市民や市

年度で16,793トンです。このうち、燃やせるごみは、合併前から23・2パーセントも減少させましたが、まだ11,592トン、毎日平均して約31トンも出されています。

このごみは、現在、山本町のクリーンセンターで焼却していますが、これを焼却しないで資源化しようとするのが、三豊市の次期ごみ処理方式の考え方です。

	単位 t			
	H15年度 (18分別前)	H21年度 (18分別後)	増 減	H27年度推計値 (中間目標値)
燃やせるごみ	15,112	11,592	▲ 23.2%	3,096
燃やせないごみ	2,500	1,109	▲ 55.6%	703
リサイクルごみ (再生利用)	2,916	4,091	40.2%	12,695
合 計	20,528	16,793	▲ 18.1%	16,494

民団体と、そして民間企業など役割を分担しながら、地域全体を良い関係で結ぶためのプロデューサーとしての役目が大きくなりつつあります。

三豊市のごみ処理は、出てきたものを処理するという非生産的費用発生型ではなく、市民や民団体、民間企業などが互いに支え合い、ごみをバイオマス資源として活かし、循環させる新しい産業として育てなければなりません。

これまで3回シリーズで、三豊市の次期ごみ処理施設を取り巻く現状と、向かすべき方向についてお知らせをいたしました。

今後は、市議会においても、より高い位置からの審議が本格化します。そして、適切な時期に新しい施設の考え方をまとめ、市民の皆さんにご説明をしなければなりません。

三豊市は、地域づくりとして「みんなで作るふるさと三豊」をテーマに、この問題に取り組んでいます。今後は、事業推進の節目ごとにお知らせをする形で記事を掲載いたします。ご協力をお願いいたします。

▼問い合わせ

バイオマスタウン推進室
☎ 73・30208

2011大蔵経千年世界文化祝典開催



三豊市と友好都市提携をしている韓国の陝川郡では、9月23日から11月6日までの45日間、同郡内にある「海印寺」に保管され、世界記録遺産にも指定されている高麗八萬大蔵経刊行千年を記念し「2011大蔵経千年世界文化祝典」が開催されます。

イベント期間中、三豊市と陝川郡が共同で、会場内に「讃岐うどん販売ブース」と三豊市物産販売店の2店舗から構成される「三豊市広報館」の設置を予定しています。

「讃岐うどん販売ブース」では、陝川郡が日本から購入する製麺機を使用した「讃岐うどん」の試食販売を行います。また「三豊市物産販売店」では、伝統工芸品を展示したり三豊市内で製造されている加工品の試食、販売を行います。

▼問い合わせ
地域振興課 ☎73・3013

香川高専託問キャンパス公開講座

第2回SWMチャレンジ記録会 in 三豊

日時 9月4日(日) 午後1時～4時
場所 託問キャンパスプール
内容 全国各地のスイマーが、異なる時間・場所でタイムを競います。その記録は登録され全国でランキングされます。

対象 定期的に水泳をしている人
(中学生以下は保護者の承認が必要)
受講料 1,600円
定員 7人
申し込み期間 8月8日(月)～26日(金) 土・日・曜日を除く
パソコンデータベース実力養成講座

日時 9月7日(水)～10月12日(水) 毎週水曜日 午後6時30分～8時30分
場所 託問キャンパス電子制御工学科棟1階
内容 (コース1)表計算ソフトウェアの基本操作・表計算機能グラフの作成と編集など
(コース2)表計算ソフトウェアのマクロの作成登録・オブジェクトの操作・ユーザーフォーム作成

受講料 7,400円
定員 15人
申し込み期間 8月8日(月)～31日(水) 土・日・曜日を除く
申し込み・問い合わせ
香川高等専門学校託問キャンパス ☎83・8507

“あなたとともに スローな未来を” 40歳未満の定住者支援対策事業がスタート

私たちは、何か願いをするとき、そっと星空を眺めてきました。遠くでまたたく小さな光に、同じ境遇を感じたのかもしれませんが、しかし、日常の喧騒に、小さな星たちの存在は忘れられ、見上げてもいろいろな人工的な光に遮られ、星座や天の川の神秘を体験することなどは、もはや価値観から消え去ろうとしているのかもしれません。夕闇の木立を抜ける風は心地よく、天の川の向こうはどうなっているんだなどと考えると、横で猫があくびをしました。

平成22年の国勢調査では、三豊市の人口は6万8千人台になりました。だんだんと減少しています。また、同時に少子高齢化も進んでいます。子どもたちの未来に、私たちは、今、何をすべきなのでしょう。足りないものを探し、無いものを求めることには限界があります。それよりも、有るものを発見し、守るべきものを守って、ふるさとに誇りを持って生きることができないでしょうか。私たちは、二流、三流の都会を求めたのではなく、一流の田舎を目指すべきなのかもしれません。

平成23年度から、40歳未満の若者定住・地域経済活性化事業が始まりました。この事業は、若者の三豊市への定住を進め、地域と地域経済の活性化を目指すものです。マイホームを検討されている方は、ぜひ、この機会に三豊市へ。

● 補助の対象となる住宅

- (1)平成23年4月1日から平成26年3月31日までの間に、本市の区域内に新たに新築または購入した住宅
(ただし、平成23年1月1日時点で、固定資産の評価が未了である新築住宅を含みます)
- (2)不動産登記法により、建物の権利に関する登記をした住宅
- (3)市内の業者により建設された住宅(住宅を新築した場合に限る)
- (4)市内の業者から購入した住宅(住宅を購入した場合に限る)
- (5)玄関・居室・便所・台所および風呂を備えた住宅

● 補助の対象とならない住宅

- (1)相続、贈与等により取得対価を伴わずに取得した住宅
- (2)公共工事等に伴う移転補償により取得した住宅

● 補助を受けることのできる人

- (1)市内に居住する人または三豊市への転入者
- (2)補助金の交付申請日において40歳未満の人

● 補助を受けることができない場合

- (1)居住する世帯の構成員が市税を滞納している場合
- (2)過去に、この補助金の交付を受けている場合

● 補助金の額

- (1)住宅取得価格(消費税を含む)の20分の1(1万円未満は切り捨て) 上限は100万円です。
(ただし、補助金の交付を受けた日から起算して5年以内に転居または転出したときは、補助金を返還)
- (2)店舗併用住宅の場合は、居住部分の面積分が対象



▶ 問い合わせ バイオマスタウン推進室 ☎73-3028

台風に対する備え

消防だより

備えのポイント

- ・ 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオの準備をしましょう。
- ・ 避難時に備え、貴重品などの非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ・ 窓や雨戸などは、飛ばされないようにしっかりと補強しましょう。
- ・ 勤務先など離れた所にいる家族と連絡を取り合みましょう。
- ・ 避難場所を確認しておきましょう。

▼問い合わせ
三観広域北消防署 ☎72・2119

市営住宅の入居者募集

住宅名(所在)	戸数集	構造	階数	使用料
西野団地(託問町託問)	1戸	3DK	3階	21700円
西野団地(託問町託問)	1戸	4階耐火	3階	42600円
西野団地(託問町託問)	1戸	3階耐火	3階	20100円
高谷団地(託問町託問)	1戸	2DK	3階	39500円
宮尾団地(財田町財田中)	1戸	3LDK	2階	16500円
宮尾団地(財田町財田中)	1戸	3LDK	2階	20400円
宮尾団地(財田町財田中)	1戸	2階耐火	2階	40000円

入居者の所得に応じて決定します

● 申し込みができる人

- (次の条件をすべて備えている人)
- ①市内に住所または勤務場所を有する人
 - ②同居の親族か、同居しようとする親族がいる人(一定の条件を満たす場合、単身入居も可能)
 - ③現に住所に困窮していることが明らかでない人
 - ④市町村税等を滞納していない人
 - ⑤世帯の月額所得が基準の範囲内であること
 - ⑥申込者または同居親族が暴力団員でないこと

● 入居の決定方法

入居者選考委員会にて選考して決定します。

● 入居予定時期

9月中旬

● 必要書類

- ①申込書・申立書等(住宅課・各支所にあります)
- ②住民票(入居予定者全員)・所得証明書・納税証明書(15歳以上で学生を除く)・その他必要書類

● 申し込み

8月1日(月)～15日(月) 午前8時30分～午後5時(土・日除く)に、必要書類を住宅課へ提出してください。(受付は申し込み期間のみ)

▼問い合わせ 住宅課 ☎73・3045

目指せ男女共同参画社会

No.21

仕事と家庭の両立支援

男女が互いに、職場と家庭・地域とのバランスのとれたワーク・ライフ・バランスの実現に向け、仕事と家庭等の両立を支援する社会環境づくりが求められています。



○子育てや介護に関する各種支援制度について理解し、積極的に活用しましょう。

○家事・育児や介護にあたっては性別にかかわらず、自分でできることを見つけて家族で協力しましょう。

○男性も仕事だけでなく、家庭や地域の活動に参加しましょう。

事業主は、従業員が安心して育児休業・介護休業を取得し、仕事と家庭生活が両立できるよう職場環境づくりに努めましょう。

下記のサイトで、仕事と家庭の両立支援に関する企業(ファミリーフレンドリー企業)の取り組み事例が紹介されています。

企業が行う両立支援の取組を紹介するサイト

両立支援のひろば

検索

▼問い合わせ 政策課 ☎73・3010

「ヤンヤンと作る “麻婆豆腐” 作り教室」 国際理解講座

日時 8月28日(日)
午前10時～午後1時30分

講師 中国国際交流員 楊 笛

場所 豊中町保健センター

定員 50人

参加料 会員500円
一般600円

申し込み期限 8月25日(木)



友好都市からの
中学生友好訪問団歓迎交流会

海外の友好都市からの中学生訪問団が7月下旬から8月上旬にかけて、三豊市でホームステイをして親善交流を深めます。みなさんも歓迎交流会に参加して、友好都市の中学生と親善交流を深めませんか？

●米国ワウパカ市・韓国陝川郡中学生
友好訪問団合同歓迎交流会

日時 8月5日(金) 午後6時～8時

場所 プリマーレはやしや

参加料 大人2,000円 高校生以下 1,000円
未就学児 無料(保護者同伴)

申し込み期限 8月3日(水)



みなさん、
市内で中学生たちを
見かけたら、あいさつを
しましょう!

(日本語)
こんにちは



(英語)
ハロー!



(韓国語)
안녕하세요!



申し込み・問い合わせ (財) 三豊市国際交流協会 ☎56-5121 (火曜・祝日休館) <http://www.mitoyo.org/>

審査結果発表!!
三豊の魅力さがし
写真コンテスト(春の部)



最優秀賞 「ワーこいのぼりだ!!」
横山 彰(観音寺市)

優秀賞

石角 尚義(三豊市) 大西 静雄(三豊市)
三ツ石不二夫(丸亀市) 松本 省五(さぬき市)

佳作

大西 静雄(三豊市) 石川 善弘2点(三豊市)
千秋 勇(三豊市) 藤田 博由(三豊市)
登 サチ子(観音寺市) 真鍋 幸江(観音寺市)
三ツ石不二夫(丸亀市) 松本 敬(高松市)
松本 省五(さぬき市) ※敬称略

※入賞作品は「マリンウェーブ」に展示していますので、是非ご覧ください。

▶問い合わせ 三豊市観光協会 ☎56-9121

40周年記念
震災復興祈願
イベント

たくま港まつり

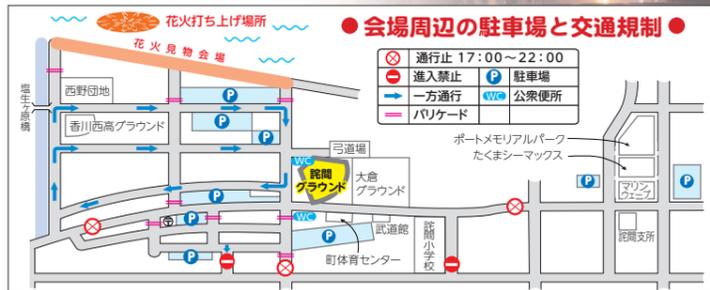
8月13日(土) 午後5時30分～
〈詫間グラウンドとその周辺〉

学生ボランティア
募集中!

- 午後5時30分～ 舞い舞たくま子ども総踊り、踊りコンテスト
(みんなで一緒に記念撮影)
- 午後7時50分～ 野外ステージショー
(雨天の場合はマリンウェーブで行います)
- 午後9時～ 海上花火大会～40周年記念尺玉乱舞!～
- ◆東北の物産販売
- ◆子どもの遊び広場有り

約1,100発の
花火があがるよ

※荒天の場合は、野外ステージショー以外は翌日に順延



※詳しくは広報みとよ8月号と一緒にお届けしているチラシをご覧ください

▶問い合わせ 詫間支所 ☎83-3111

旬の味を楽しむ

フルーツ王国 簡単レシピ
みとよの

学校給食からおすすめメニュー④

今が旬の三豊産の野菜や果物を使った料理のレシピを紹介しています。

材料 (4人分)

- なっとう 80g
- ちくわ 1本
- にんじん 1/3本
- ゴーヤ 1/3本
- しょうゆ 小さじ1
- みりん 小さじ1
- 小麦粉 50g
- 卵 1/2個
- 揚げ油 適量



大豆おやし

僕のパワーで
暑い夏を乗り
きろう!

▶問い合わせ 農業振興課 ☎73-3040



ゴーヤ入りなっとうのかきあげ

作り方

- ① にんじんは千切り、ちくわは輪切り、ゴーヤは半分に切り、白い部分を除いて薄く切る。
- ② ボールに材料と調味料を全部入れてまぜあわせる。
- ③ ②を一口大の大きさにスプーンですくって油で揚げる。



スタミナにんじん

作り方②でかたい時は、水を少量入れるといいよ!

美味しいは 地産地消 から ⑭ おいしそう野菜がたくさんあるよ!

昨年度から地元の野菜を学校給食に出しています。大勢の生産者においしい「給食交流」や「収穫体験」など忙しい合間をぬって児童たちと関わっていただきました。

豊中町学校給食センターには、地元の生産者が新鮮な野菜を納めてくれています。7月には「アスパラガス」や「ねぎ」、あさの里加工グループが「みそ」を提供してくれました。今後も「三豊ナス」「じゃがいも」「にんじん」「ピーマン」「にんにく」「きゅうり」など、旬の野菜が納められる予定です。

また、7月14日には財田上小学校で、生産者給食交流が行われました。生産者の人も自分の孫が通っていると、

恥ずかしそうに笑みを浮かべ、参加してくれました。三野町では、7月11日に各小学校・幼稚園で「三豊ナス」と「千両ナス」の実物を展示して、実際に触ったりして、違いを見てもらいました。いろいろな触れあいを通して、地元の美味しい野菜を顔の見える形で食材として学校給食に取り入れることができ、子どもたちに食べることの大切さを伝えていきます。



▲「食べて菜」の説明をする白川弘幸さん

▶問い合わせ 学校給食課 ☎62-1114



8月のお知らせ

三豊市メール配信サービス実施中
登録はこちら



募集

三豊市職員募集

- 募集人員
 - 行政事務 10人程度
 - 土木・経験者 1人程度
 - 幼稚園教諭・保育士 9人程度
 - 保健師 1人程度
 - 薬剤師 1人程度
 - 看護師 3人程度
- 試験日 9月18日(日)
- 試験場所 受験票送付時に通知
- 受付期間 8月8日(月)～24日(水) (土・日は除く)
- ※郵送可(8月24日必着)
- 受験申込書・募集要項は、人事課および各支所にあります。また市ホームページからもダウンロードできます。
- 申し込み・問い合わせ 人事課 ☎73・30002

三豊総合病院企業団職員募集

- 職種 保健師・看護師・助産師など
- ※その他の職種については当院ホームページをご覧ください。
- 採用予定人数 50人程度
- 受験資格
 - ①平成24年3月卒業見込みの人
 - ②看護師免許を有し、昭和41年4月2日以降に生まれた人
- 必要書類
 - ①採用試験申込書(ホームページからダウンロードできます)
 - ②成績証明書・卒業見込証明書または資格免許証の写し
- 受付期限 8月15日(月)まで
- 試験日
 - 第一次試験(筆記) 8月27日(土)
 - 第二次試験(面接) 9月17日(土)
- 申し込み・問い合わせ 三豊総合病院総務課 ☎52・33366



自衛官(特別職国家公務員)募集

募集種目	受験資格	受付期間
航空学生	18歳以上 21歳未満	8月1日(月)～ 9月9日(金)
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	
自衛官候補生	18歳以上 27歳未満	

■ 申し込み・問い合わせ 自衛隊観音寺地域事務所 ☎25・6122

相談

弁護士多重債務者無料相談会

- 日時 8月23日(火) 午後1時～3時
- 場所 財田町国保高齢者保健センター
- 相談 1人30分 4人まで(要予約)
- 申し込み期間 8月9日(火)～16日(火)
- 申し込み・問い合わせ 福祉課 ☎73・3015

“太平洋戦争”の体験談を募集します

～ そのとき三豊で何が起きていたのか
三豊の人々はそのとき何をしていたのか ～

『太平洋戦争と三豊』というテーマで、太平洋戦争にかかる体験談の発刊を計画しています。これは戦争を事実として残し、平和に寄与することを目的に作成するもので、皆さんから体験談を募集します。当時の体験談を文書でいただける方、またはお話しただけの方は、生涯学習課までご連絡ください。



▶ 問い合わせ 生涯学習課 ☎62-1113

若者自立支援相談

(さめぎ若者サポートステーションの出張相談)

- 日時 8月24日(水) 午前9時30分～午後5時
- 場所 豊中町保健センター
- 相談内容 就職支援相談
キャリアカウンセリング
- 対象 15歳からおおむね39歳までの人
またはその家族
- 問い合わせ 商工観光課 ☎73・3042

香川求職者総合支援センター出張相談

- 日時 8月26日(金) 午前10時～午後5時
- 場所 高瀬町農村環境改善センター
- 相談内容 生活支援策の利用や能力開発、住居の確保など
- 問い合わせ 香川求職者総合支援センター ☎080(3)923(8)609

精神保健相談日

- 日時 【中高年うつ・認知症相談(要予約)】
8月1日(月)・9月5日(月)
午前11時～正午

講座・教室

夏休み小学生卓球教室

- 日時 8月2日(火)～30日(火) 毎週火・土曜日(13日は除く) 午後7時30分～9時
- 場所 高瀬町体育館
- ※直接会場にお越しください。
- 問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113

家族教室(統合失調症)

- 日時 8月10日(水) 午後1時30分～3時30分
- 場所 西讃保健福祉事務所
- 内容 作業所見学と地域の家族会を知ろう
- 対象 統合失調症の人の家族

【思春期相談】(要予約)

- 日時 8月8日(月) 午後2時～4時
- 心の健康相談(要予約)
- 日時 8月24日(水) 午後2時～4時
- 場所 西讃保健福祉事務所
- 申し込み・問い合わせ 西讃保健福祉事務所 ☎25・2052

夏の体験教室「わたしたちのくらしと水を学ぼう」

- 問い合わせ 西讃保健福祉事務所 ☎25・2052
- 日時 8月14日(日)・21日(日) 午前10時～正午
- 場所 香川用水記念公園
- 対象 小学校高学年と保護者
- 定員 各20組
- ※開催日2日前までに電話申し込み
- 申し込み・問い合わせ 香川用水記念公園 ☎67・3760

救命講習会受講者募集

- 普通救命講習会
 - 日時 9月3日(土) 午前8時45分～正午
 - 場所 いずれも三観広域防災センター
 - 定員 各30人
 - 申し込み・問い合わせ 三観広域消防防課 ☎23・3973
- 上級救命講習会
 - 日時 9月4日(日) 午前8時～午後5時
 - 場所 いずれも三観広域防災センター

税務課からのお知らせ

8月は、市県民税普通徴収(第2期分)
国民健康保険税普通徴収(//)
介護保険料普通徴収(//)
後期高齢者医療保険料普通徴収(//)の納付月です。

口座振替日および納期限 **8月31日(水)**

☆納期限内に納めましょう。
☆市税等の納付は便利な口座振替をご利用ください。

▶ 問い合わせ 税務課 ☎73-3006

三豊市生涯学習推進計画のダイジェスト版作成

「三豊市生涯学習推進計画」が平成23年3月に策定され、広く市民の皆さんに知っていただくため、ダイジェスト版を作成しました。広報みとよ8月号と一緒に配布しますので、ご覧ください。また内容をもっと詳しく知りたい人は「三豊市生涯学習推進計画」を市内図書館で貸し出しています。また、市ホームページにも掲載していますので、そちらをご覧ください。

▶ 問い合わせ 生涯学習課 ☎62-1113

高齢者交通安全アドバイザーの高齢者宅訪問活動

多発する高齢者の交通事故を防止するため、三豊署では、高齢者交通安全アドバイザーが活動しています。2人1組で高齢者宅を訪問し、交通安全についての啓発指導等を行っています。

アドバイザーは、身分証明書を携行し、黄緑色ジャンパー(背中に「交通安全アドバイザー香川県警察」と明記)と紺色帽子を着用し、レンタカーを使用しています。活動は12月末までの予定です。

高齢者の事故を防ぐための啓発活動にご理解をお願いします。



▶ 問い合わせ 三豊警察署 ☎72-0110

農産サポーター講習

野菜・果樹の栽培や肥料等の講習

■日時 前期9月12日(月)～16日(金)
後期10月17日(月)～21日(金)
※前期・後期通して10日間講習
午前10時～午後3時

■場所 JA三豊地区営農センター

■対象 55歳以上でハローワークに求職登録している人

■定員 20人

■申し込み期限 8月25日(木)

■申し込み・問い合わせ 三豊市シルバー人材センター

☎63・1244

その他

東日本大震災写真パネル展

日本ユニセフ協会作成の写真パネル47点を展示します。

■日時 8月3日(水)～14日(日)

■場所 三野町図書館

■問い合わせ 三野町図書館

☎73・3121

夏休みアニメ映画会

■日時 8月3日(水)・17日(水)

午後2時～3時

■場所 詫間町図書館

■内容 3日「3匹のやぎのからがらごっこ」他
17日「金太郎」「宝の下駄」他

■問い合わせ 詫間町図書館

☎83・6828

夏休み上映会

■日時 8月18日(木)

午後1時30分～3時

■場所 仁尾町文化会館

■内容 「おまえつまそつだな」

■定員 250人

■問い合わせ 仁尾町図書館

☎56・9565

サマーフェスティバル

■日時 8月21日(日)

午後2時～4時

■場所 財田町公民館

■出演 尽誠学園高等学校応援部
高瀬子ども太鼓「童謡」

■問い合わせ 財田町公民館

☎67・0108

親子で楽しむ音楽会

■日時 8月21日(日)

8月21日(日)
午前10時～11時30分

■場所 市民交流センター

■演奏 詫間町吹奏楽団

■対象 高瀬中学校吹奏楽部OB会

■問い合わせ 幼児・小学生の親子

豊中町公民館

☎62・1155

講演会「讃岐の祭とちよつさ文化を中心に」

■日時 9月4日(日)

午後1時30分～3時

■場所 山本町生涯学習センター

■講師 愛媛大学准教授 胡光氏

■申し込み・問い合わせ 山本町公民館

☎63・1041

香川高等専門学校学校詫間キャンパスオープンキャンパス

■日時 8月7日(日)

午前9時～正午

■場所 香川高専詫間キャンパス

■問い合わせ 香川高専詫間キャンパス

☎83・8516

難病講演会

■日時 8月8日(月)

午後2時～3時30分

■場所 西讃保健福祉事務所

■内容 パーキンソン病の介護とリハビリテーション

■講師 香川大学教授 峠 哲男 氏

■申し込み・問い合わせ 西讃保健福祉事務所

☎25・2052

食育フォーラム講演会「メタボ、糖尿病の予防・改善のために」

■日時 8月24日(水)

午後1時30分～4時

■場所 市民交流センター

■講師 京都大学大学院教授 森合敏夫 氏

■定員 300人程度

■問い合わせ 西讃保健福祉事務所

☎25・3082

目の見えない方・見えにくい方のための福祉フェスタ2011

■日時 8月7日(日)

午前10時～午後4時

■場所 県社会福祉総合センター

■内容 福祉機器の展示・相談コーナー
盲導犬体験歩行など

■問い合わせ 県視覚障害者福祉センター

☎087(812)5563

下水道排水設備工事責任技術者資格認定共通試験

■試験日 10月14日(金)

午後2時～4時

■試験会場 高松市上下水道局

■申し込み期間 8月1日(月)～31日(水)

■問い合わせ 日本下水道協会香川県支部

(高松市上下水道局企業総務課内)

☎087(839)2711

第7回四国霊場88サイクル駅伝

8月8日(月)～16日(火)に

自転車道四国霊場八十八ヶ所を駅伝方式で一周します。自転車巡礼

隊に温かい声援をお送りください。

三豊市の通過予定時刻

8月16日(火)

午前10時～10時30分

(第67番大興寺)

午前11時30分～午後2時

(第70番本山寺→第71番弥谷寺)

※時間は前後する場合があります。

■問い合わせ 善通寺市観光協会

☎0877(63)6315

写真コンテスト作品募集

■テーマ 「仲よしファミリー」

子どもと家族のふれあう様子

■賞品 最優秀賞 1人

一万円相当ギフト券

優秀賞 2人

五千円相当グルメギフト

入選 17人

ポケットアルバム

■申し込み期限 9月5日(月)

■申し込み・問い合わせ みとよファミリーサポートセンター

☎62・1192

国際成人力調査を実施

国際成人力調査は、成人が日常生活や職場で必要とされる技能(成人力)をどの程度持っているかを調べる、経済協力開発機構が進める国際比較調査です。

8月～平成24年1月に、民間調査会社に委託し、16歳以上65歳以下の人から無作為に対象者を抽出し調査します。対象者には7月末以降に文書でお知らせします。

■問い合わせ 国立教育政策研究所

☎03(6733)6939

マリソウウェブ情報 ▶マリソウウェブ ☎56-5111

ONE COIN LOBBY CONCERT
トロイムデュオコンサート ～フォーレ特集～

■日時 8月25日(木) 午後7時開演
■料金 一般500円 学生100円
■出演 フルーツ尾崎智子 ピアノ 澤田恭子

みとよGENKIプロジェクト 桂こけ枝とこども落語祭り!

■日時 8月21日(日) 午後5時開演
■料金 一般2,000円 高校生以下800円 親子ペア2,500円【全席自由席】
■出演 桂 こけ枝

日向家ひかる(中1) 秋月亭大誠光(小6) 池田家大吉(小6) KOHARU亭たいちろう(小5) KOHARU亭けいじろう(小3)

水木一郎 アニソンライブ 好評販売中

■日時 9月25日(日) 午後2時開演
■料金 3,500円【全席指定席】
■出演 水木一郎 石田燿子

心温まる贈りもの (6月受付分)

このたび、次の皆さまより善意のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略・受付順)

社会福祉協議会へ

白川 博章	山本町	細川 健治	三野町
辻 兼造	仁尾町	長尾 真弓	三野町
凶子 寛	財田町	白井 年子	詫間町
塩田 政太郎	三野町	矢野 博	豊中町
尾崎 さちよ	三野町		
香川県建設労働組合仁尾支部 仁尾町			

三豊市の人口 平成23年7月1日現在 ()内は前月比

世帯数	22,880	世帯(+11)	総人口	68,039人 (-7)
-----	--------	---------	-----	--------------

※香川県人口移動調査による

みとよデータボックス

69

今月の数字は・・・69%。これは、カロリーをベースにした、三豊市の食糧自給率の数字です。日本全土での食糧自給率は40%前後で推移していますから、これはかなり高い数値と言えます。豊かな農地や漁港など、三豊市が自然に恵まれていることを示す数字です。近年各地で地産地消の動きが広がっています。今見直されている食育という観点からも、三豊市は非常に恵まれた環境といえるのではないのでしょうか。

▶問い合わせ 政策課 ☎73-3010

テレビが見えなくなった(「砂嵐」になった)人はデジサポにお電話ください。

【デジサポ香川】 ☎087-883-5521
(平日)9:00～21:00 (土日祝日)9:00～18:00

災害対策セミナー in 三豊

「障害者や要介護者の災害への備えについて」
～家庭の備えと地域の支援を考える～

■日時 8月29日(月) 午後1時～4時
■場所 高瀬町農村環境改善センター
■対象 1) 障害者とその家族・要介護者の家族
2) 民生委員・児童委員
3) 自治会・自主防災組織役員等
4) 老人・障害者福祉施設職員
5) ボランティア・NPO
6) 市社会福祉協議会・市職員 他

■定員 150人
■内容 基調講演「災害の基礎知識と災害の備え」
講師 香川大学教授 長谷川 修一 氏
事業説明「障害者や要介護者の災害対策の現状と課題について」
説明 香川県社会福祉協議会

▶問い合わせ 西讃保健福祉事務所 ☎25-4066

農事相談 農業委員会 ☎73-3046

日程	時間	場所
2日(火)	13:30~16:00	詫間福祉センター
3日(水)		仁尾庁舎
5日(金)		財田庁舎

就農相談 担い手育成総合支援協議会事務局 ☎62-3075

対象は、新規就農予定者・就農5年以内の農業者(要予約)

日程	時間	場所
24日(水)	13:00~16:00	西讃農業改良普及センター
25日(木)		
26日(金)		

知的財産・技術相談 商工観光課 ☎73-3042

登録商標や企業・技術紹介の相談(要予約)

日程	時間	場所
9日(火)	9:30~15:00	豊中町保健センター

休日当番医

日程	医療機関名	市町名	電話番号
7日(日)	山地外科医院	三野町	72-2577
	宮崎内科医院	観音寺市	25-1280
14日(日)	嶋田内科医院	三野町	73-5178
	石川医院	観音寺市	54-5511
21日(日)	池田外科医院	豊中町	62-3151
	今滝医院	観音寺市	27-6218
28日(日)	平林医院	詫間町	83-2221
	中央クリニック	観音寺市	25-0755
9月4日(日)	細川病院	詫間町	83-2211
	たしろ医院	観音寺市	25-8413

休日当番医 歯科

日程	医療機関名	市町名	電話番号
7日(日)	三豊総合病院	観音寺市	52-3366
14日(日)	森歯科医院		25-2077
21日(日)	みやざき歯科医院	詫間町	83-7222
28日(日)	ウキタ歯科医院	観音寺市	23-3123
9月4日(日)	白井歯科医院	三野町	72-5237

※休日当番医は、都合により変更になることがあります。

行政相談 総務課 ☎73-3000または各支所

日程	時間	場所
3日(水)	13:00~15:00	三野町社会福祉センター
	10:00~15:00	豊中町保健センター
8日(月)	10:00~15:00	高瀬町農村環境改善センター
	13:00~15:00	山本庁舎
	13:15~16:00	財田庁舎
9日(火)	13:00~16:00	詫間福祉センター
15日(月)	10:00~15:00	仁尾庁舎

人権相談 人権課 ☎73-3008または各支所

日程	時間	場所
3日(水)	10:00~15:00	山本町農村環境改善センター
		豊中町保健センター
4日(木)	10:00~15:00	財田庁舎
8日(月)		高瀬町農村環境改善センター
10日(水)		詫間福祉センター
17日(水)		三野町社会福祉センター

職業相談 上高野文化センター ☎62-2377

日程	時間	場所
8日(月)	10:00~11:30	上高野文化センター

健康相談 健康課 ☎73-3014

血圧測定・尿検査・健診結果や生活習慣病予防等の相談

日程	時間	場所
4日(木)	9:30~11:00	詫間福祉センター
10日(水)		山本町保健センター
18日(木)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
19日(金)		豊中町保健センター
22日(月)		三野町保健センター
23日(火)		仁尾町福祉会館
24日(水)		高瀬町公民館

※ ☐ は管理栄養士の栄養相談もあります。要予約

献血 健康課 ☎73-3014

日程	時間	場所
26日(金)	9:00~15:00	三豊市役所

乳幼児健診 子育て支援課 ☎73-3016

対象	日程	受付時間	※場所
4・10カ月児健診 (平成23年4月生まれ 平成22年10月生まれ)	16日(火)	13:30~13:50	豊中
	23日(火)		三野
1歳6カ月児健診 (平成22年1月生まれ)	4日(木)		豊中
	11日(木)		三野
3歳児健診 (平成20年1月生まれ)	18日(木)	豊中	
	25日(木)	三野	

※乳幼児健診は子どもの成長・発達を知る節目の時期に実施しています。ぜひ、この機会に受けましょう。

プレママひろば 子育て支援課 ☎73-3016

対象	日程	受付時間	※場所
16週以降の妊婦 (希望者は前日までに 電話でお申し込みください)	24日(水)	9:15~9:30	高瀬

パパママ教室 子育て支援課 ☎73-3016

対象	日程	受付時間	※場所
16週以降の妊婦と夫 (希望者は2日前までに 電話でお申し込みください)	28日(日)	9:15~9:30	三野

ベビーマッサージ教室 子育て支援課 ☎73-3016

対象	日程	受付時間	※場所
2~6カ月の乳児と保護者 (希望者は8/31~前日までに 電話でお申し込みください)	9月14日 (水)	9:40~10:00	三野

離乳食講習会 子育て支援課 ☎73-3016

対象	日程	受付時間	※場所
1歳未満児を持つ家族 (希望者は8/31までに電話でお 申し込みください) ※託児あり	9月7日 (水)	10:15~10:30	豊中

児童相談 子育て支援課 ☎73-3016

日程	時間	※場所
23日(火)	13:30~15:00	豊中

◎県の専門員が相談に応じます。◎希望者は事前に電話でお申し込みください。
※場所 豊中…豊中町保健センター 三野…三野町保健センター
高瀬…高瀬地域子育て支援センター

脳きり教室 地域包括支援センター ☎73-3017

日程	時間	場所
9日(火)	13:30~15:00	高瀬町農村環境改善センター
10日(水)		マリノウェーブ
16日(火)		市民交流センター
19日(金)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
23日(火)		仁尾町文化会館
24日(水)		三野町保健センター
26日(金)		山本町保健センター

高齢者あんしん相談 地域包括支援センター ☎73-3017

認知症や介護に関すること、成年後見制度や高齢者虐待などの相談

日程	時間	場所
1日(月)	10:00~11:00	仁尾庁舎
9日(火)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
11日(木)		三豊市役所
12日(金)		三野町保健センター
17日(水)		豊中庁舎
18日(木)		山本町保健センター
24日(水)		詫間福祉センター

精神デイケア 福祉課 ☎73-3015

日程	時間	場所
4日(木)	10:00~11:30	高瀬町公民館(さくらの会)
11日(木)		
18日(木)		
16日(火)		

こころの健康相談 福祉課 ☎73-3015

日程	時間	場所
5日(金)	10:00~11:30	詫間福祉センター
22日(月)	13:00~15:00	高瀬町農村環境改善センター

高瀬中央保育所

子どもたちが心を動かして遊ぶ環境づくりを



▲泥だんごを並べて作った「へび」だよ

フクフク感や挑戦する醍醐味を体全体で体験しながら、達成感や満足感を覚えていきます。その経験を大切にしていきたいと思えます。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

これらの活動は、比地大小学校のよき伝統として続けられています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

みんなの みとよ



▲駅前広場の花を植え替えました

すくすく通信

比地大小学校

学校のよき伝統を引き継いで

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

また、金曜日の昼は、ボランティア清掃をしています。縦割り班構成で、学校内だけでなく、学校周辺や比地大駅周辺もきれいにしています。6年生は、地域の人と一緒に、駅前広場の花の植え替えも行っています。

吉吾古墳

～瀬戸内海を舞台に活躍した人物が眠る古墳～

市指定史跡である吉吾古墳は、詫間町庄内半島の積つむに所在します。古墳は方墳ほうふん(方形の古墳)といわれていましたが、図面など基礎的データがないため不明な点がありました。また、古墳から東に9m離れた場所には「箱式石棺」と呼ばれる埋葬施設が1基露出しています。古墳の形状や箱式石棺の規模などを明確にするために、5月から7月にかけて発掘調査を行いました。

発掘調査の結果①古墳は方墳ではなく円墳(丸い古墳)であること②大きさは直径約10mであること③出土した須恵器すえき(古墳時代の食器：朝鮮半島から日本に伝来)から、古墳時代後半(6世紀ごろ)に築造されたことなどがわかりました。そのほか、古墳と箱式石棺の間は9mほど離れていますが、その中間部分に両者を区画する溝があることもわかりました。また、箱式石棺の長さは、約2.9mと市内では最大規模であることがわかりました。

詫間町には志々島と本村中周辺に箱式石棺があります(後者は詫間町歴史民俗資料館に移築)。規模は前者が約2.3m、後者が約1.9mです。高瀬町にある矢ノ岡古墳の石棺が約1.6mですので、規模が大きいのが詫間町の特徴といえそうです。

吉吾古墳からは詫間湾が見渡せ、粟島・瀬戸大橋などを一望することができます。また、記録では釣針が石棺内から出土したという記録もありますので、ここに眠る人物は瀬戸内海をフィールドに活躍していたことが推測できます。



▲吉吾古墳(奥)と箱式石棺(手前)



▲発掘された箱式石棺

<生涯学習課>

今月の市民力

平成9年の国民文化祭のときに、うどんのお接待をしたのがきっかけで発足した大見公民館うどん同好会。現在、会員は37人。市内のイベントや小学校でうどん教室を開くなど、昔ながらの生地からのうどん作りを教えています。この日は吉津小学校の4年生にうどん作りを伝授。「香川伝統のうどん作りを体験して、おいしく食べてくれたらそれでいい」と、顔をほころばせる代表の白井節雄さん。「みんなの喜ぶ顔が見たくて」と言っている皆さんの笑顔は、とても素敵で輝いていました。

